



⑬ 保温（続き）	注 1. 原則として、露出配管は保温化紐ケースに電線配り配線及び操作線を収納し天井内、パイプシャフト内、床下及び暗渠内等は冷媒管保温上に共縛りとして固定する。 2. ポリスチレンフォーム保温筒は、ガス管20mm、液管10mm厚以上とする。 3. 保温化紐ケースは、耐候処置を施した塩化ビニル樹脂製で-20℃～60℃まで耐えるもの。 4. 保温化紐ケースに冷媒管を収めた場合、適当な余裕があればドレン管をケース内に収めても良い。 (3) 屋内露出配管の施工 屋内露出配管の保温見切り箇所には菊座を、また分岐曲がり部等にはバンドを付けるものとする。なお、材質は全て冷間圧延ステンレス製とし、バンド幅は保温外径150mm以下は20mm、150mm以上は25mm、菊座は全て50mmとする。 (4) 給水管・排水管保温仕様	<table><tr><th>施工箇所</th><th>材 料 及 び 施 工 順 序</th><th>参 考 施 工 箇 所</th></tr><tr><td rowspan="3">屋内露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂貼付カバー</td><td>一般居室、廊下</td></tr><tr><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>機械室、書庫、倉庫</td></tr><tr><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス</td><td>天井内、パイプシャフト</td></tr><tr><td>屋内隠蔽</td><td>1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. アルミテープ（1m間隔）</td><td>空隙壁内</td></tr><tr><td>床 下</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス</td><td>床下、暗渠内、地下ピット</td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板</td><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）</td></tr></table>	施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所	屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂貼付カバー	一般居室、廊下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	天井内、パイプシャフト	屋内隠蔽	1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. アルミテープ（1m間隔）	空隙壁内	床 下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット	屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）																												
施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所																																															
屋内露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂貼付カバー	一般居室、廊下																																															
	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫																																															
	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	天井内、パイプシャフト																																															
屋内隠蔽	1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. アルミテープ（1m間隔）	空隙壁内																																															
床 下	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	床下、暗渠内、地下ピット																																															
屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）																																															
⑭ 制御及び操作盤	注 1. 給水管及び給湯用の配管で、保温を行う呼び径 6.5 以上の弁、ストレーナー等は、ビス等により容易に着脱できるステンレス鋼板による外装を施す。 2. ポリスチレン保温筒の使用困難な箇所は、ロックウールフェルト、グラスウール保温等又は、波型保温板を使用してもよい。 3. 別途図示等の指示がある場合はそれによる。	製造所名及び施工業者名を容易に消えない方法で記載した銘板を、扉付は扉裏面に、扉なしは全面板の見えがかりのよい位置に取り付ける。 標準仕様書第2編によるほか下記による。																																															
⑮ 塗装及び防錆	(1) 屋内及び屋外露出部で塩化ビニル管（カラーパイプを除く）使用時の排水管、通気管、排気管及びビニル製付属品等は、塩化ビニル系エナメル2 回塗りとする。 (2) 鉄製製マンホール蓋、各種ボックス用鉄製蓋、その他の鉄製製品は、タールエポキシ塗りとする。 (3) 浄化槽、グリーストラップなどの鋼板製蓋は、溶融亜鉛めっきとする。 (4) 亜鉛めっき鋼管、ライニング鋼管などのネジ山部分、その他サビの恐れのある部分は、全て高濃度亜鉛め塗り（参考品名：ローパル）でサビの防止処置をする。 標準仕様書第2編によるほか下記による。	(1) 給水配管は、試験圧力1.0MPa（10kg/cm2）以上とし、保持時間は60分以上とする。但し、配水本管から第 1 止水栓までは、鹿児島市水道局施工基準（試験圧力：サドル分水栓1.75MPa（17.5kg/cm2）、保持時間1分以上、不漏水 T 字管 1.0MPa（10.0kg/cm2）、保持時間1分以上）による。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。 (2) 給湯配管は、試験圧力1.75MPa（17.5kg/cm2）以上とし、保持時間は60分以上とする。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。 (3) 冷媒配管は、標準仕様書に基づく耐圧試験を行うこととし、保持時間は24時間以上とする。 (1) 標準仕様書第1編及び鹿児島市機械設備工事「提出書類作成要領」による。 (2) 施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。竣工時に、国土交通省大臣官庁官庁管轄部監修機械設備工事監理指針第 1 編による、竣工時中長期保全計画書（長期保全計画書）を作成する。作成方法等は、監督員の指示による。 ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策 当たっては、次の各号を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤステの棲息が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、棲息状況等の調査を行い、監督員に報告すること。																																															
⑯ 試験	(1) 土・樹木等の措置 ア 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。 イ 腐葉樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱い可能な焼却施設で焼却処理する。 一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間焼却施設 産業廃棄物：業の許可を有している民間焼却施設 (2) 工事区域周辺部の措置 周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。 (3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置 ア 薬剤処理・薫蒸処理後、搬出する。 イ 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は付着土壌の除去目視除去後搬出する。 (4) 発生地区に搬入した建設機械や農・林業工作機械の措置 付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。 (5) 未発生地区での措置 発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記（3）、（4）の措置が講じられているかを確認する。																																																
⑰ 提出図書等																																																	
23 保全計画書																																																	
24 ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策																																																	
1 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="3">室 内 条 件</th><th colspan="8">屋 外 条 件</th></tr><tr><th></th><th>温度 (DB) [℃]</th><th>湿度 (RH) [%]</th><th></th><th>温度 (DB) [℃]</th><th>湿度 (RH) [%]</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td>夏 期</td><td>26.0</td><td>50</td><td></td><td>31.4</td><td>34.0</td><td>34.7</td><td>34.1</td><td>73.5</td><td>63.9</td><td>60.7</td><td>62.8</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>22.0</td><td>40</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3.4</td><td></td><td></td><td></td><td>65.9</td></tr></table>	室 内 条 件			屋 外 条 件									温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]		温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]							夏 期	26.0	50		31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	63.9	60.7	62.8	冬 期	22.0	40					3.4				65.9	
室 内 条 件			屋 外 条 件																																														
	温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]		温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]																																												
夏 期	26.0	50		31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	63.9	60.7	62.8																																						
冬 期	22.0	40					3.4				65.9																																						
2 煙道	鋼板厚（ ・ 3.2mm ・ 4.5mm ）																																																
3 ダクト	・ 低圧ダクト（ ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法（長さの長さが1,500mm以下の部分） ） ・ 高圧 1 ダクト（適用範囲は図示による） ・ その他のダクト（ ・ VU ・ FDVP ）																																																
4 接続フレキ	一般空調用機器、換気扇はアルミ製、レンジフード等火を使用する場所は鉄製、浴室等湿気のある場所は樹脂製とし使用範囲は、最小限とする。																																																

5 風量測定口	取付箇所は下記による。 ・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト ・ 空調機出口チャンパーの分岐ダクト																																		
6 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けけるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。																																		
7 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ） 定格入力はDC24V、0.7A以下とする。																																		
8 配管材料	(2) ビストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）	<table><tr><th>種 別</th><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>冷水水管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>冷却水管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>油 管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）</td></tr><tr><td>給 気 管</td><td>地中埋設</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）</td></tr><tr><td>蒸 気 管</td><td>給 気 管</td><td>・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40</td></tr><tr><td>膨 張 管</td><td>還 管</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td>空気抜き管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</td></tr><tr><td>ドレン管</td><td></td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管 VP</td></tr><tr><td>補給水管</td><td></td><td>・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP</td></tr><tr><td>冷 媒 管</td><td></td><td>・ 断熱材被覆鋼管</td></tr></table>	種 別	区 分	使 用 材 料	冷水水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	冷却水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）	給 気 管	地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）	蒸 気 管	給 気 管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40	膨 張 管	還 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	空気抜き管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）	ドレン管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管 VP	補給水管		・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP	冷 媒 管		・ 断熱材被覆鋼管
種 別	区 分	使 用 材 料																																	
冷水水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																	
冷却水管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																																	
油 管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）																																	
給 気 管	地中埋設	・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）																																	
蒸 気 管	給 気 管	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40																																	
膨 張 管	還 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																	
空気抜き管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）																																	
ドレン管		・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管 VP																																	
補給水管		・ 水道用硬質塩化ビニル管 VP																																	
冷 媒 管		・ 断熱材被覆鋼管																																	
9 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS5K ・ JIS10K ）とする。																																		
10 温度計	取付部は標準仕様書によるほか以下による。なお、温度計は工業用バイメタル式温度計（目盛板外径100φ）とする。 ・ ボイラーの温水管（入口側） ・ 温風暖房機の吐出ダクト、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー ・ 温水発生機の温水管（出入口側） ・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 直置き吸収冷水水機の水温水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 空気調和機の冷水水管（出入口側） ・ 空気調和機（パッケージ形を含む）のサプライチャンパー、レタンダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー ・ 冷水水ヘッダー（往）及び各返り管 ・ 熱交換器の温水管（出入口側）																																		
11 圧力計	取付部は標準仕様書によるほか下記による。 ・ 温水発生機の温水管（出入口側） ・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 直置き吸収冷水水機の水温水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側） ・ 空気調和機の冷水水管（出入口側） ・ 熱交換器の温水管（出入口側）																																		
12 瞬間流量計及び流量測定口	コック付とし、取付部は標準仕様書によるほか下記による。なお、着脱型の指示部は各サイズ1個付属とする。 取付部は標準仕様書によるほか下記による。 ・ 温水発生機の温水管（入口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 冷凍機の冷水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 直置き吸収冷水水機の水温水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 空気調和機の冷水水管（入口又は出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。 ・ 冷水水ヘッダーの（ ・ 各送り管 ・ 各返り管 ）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。																																		
13 油面制御装置	制御室には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ ）の端子を設ける。																																		
14 保温及び消音内貼り	なお、フロートスイッチ部と制御室間の配管配線は、製造者の標準仕様とする。 標準仕様書第2編によるほか、下記による。 ・ 送りダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は空調室及び空調室天井内を除く） ・ 外気ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、図示及び下記範囲の保温を行う） ・ 空調室の室内及び天井内 ・ 電気室 ・ 発電機室 ・ 多湿箇所の室内及び天井内 ・ エレベーター機械室 ・ 膨張タンクよりボイラー等への補給水管及び建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編の3.1.5の排水管の項による。 ・ 消音内貼りの施工範囲は図示したダクト及びチャンパー類とする。																																		
15 たわみ継手	使用箇所は下記による。 ・ 図示の箇所 ・ 給排気ファンのダクト接続部 ・ ユニット形空気調和機のダクト接続部（機内防振機器を除く）																																		
16 機器の据付	パッケージエアコン及びルームクーラー等の室外機は、防振ゴムパット（厚さ15mm以上）の上に、ステンレス製アンカーボルトにて固定する。																																		
17 機器の塗装	室外機塗装（ ・ 標準仕様 ・ 耐塩害仕様 ・ 耐重塩害仕様 ・ その他） 塗装仕様については、製造者の仕様とする。																																		
18 試運転調整等	施工完了時に所定の試運転調整を行うことを原則とするが、完成後1年間は、冷房及び暖房時期に入る直前にも、各試運転調整を行うと共に、関係者に対し取り扱い説明を受注者の負担において行う。 また、施工完了時に行った試運転調整は、機器等の運転状態の記録表及び測定結果をまとめた測定表を作成し、速やかに提出する。 測定表には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する。																																		
19 冷媒ガスの処理	(1) フルオロカーボン（フロン）を使用している機器を撤去する場合は、事前にガスの回収を行うこと。 (2) 回収したガスは、全て破壊処理するものとする。 (3) 回収フロン破壊証明書を提出すること。 (4) 回収及び破壊処理については、フロン排出抑制法に従い、「フロン回収行程管理票」を使用してフロン回収行程の適正な管理を行うこと。 (5) 「フロン回収行程管理票」を含む、冷媒ガスの処理に係わる費用は全て受注者の負担とする。 標準仕様書によるほか下記の予備品を備える。 ・ ・ ・																																		
20 予備品等																																			

① 器具及び付属品	(1) 大・小便器用標記板は、陶器製（原則として衛生器具と同色）とし、小学校児童トイレ及び幼児用トイレに使用するものは、標記文字をひらがな又はかなで標記したものとする。 (2) 参考品番の指定がない場合の紙巻器は、市営住宅に使用するもの及び優先トイレに使用するものを除き、ステンレス鋼板製ワンタッチ形とする。 器具の取り付け高さは下記による。ただし、鹿児島市福祉環境整備指針に規定されている器具及びタイル目地合わせ等体裁上必要な場合は変更しても良いこととする。																																															
② 器具の取付け高さ	<table><tr><th rowspan="2">器具名称</th><th colspan="2">取付け高さ</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>一 般</th><th>小 学 校 幼 児</th></tr><tr><td>壁掛小便器</td><td>530</td><td>350</td><td rowspan="5">床面より前縁上端まで</td></tr><tr><td>洗 面 器</td><td>750</td><td>650</td></tr><tr><td>手 洗 器</td><td>760</td><td>700</td></tr><tr><td>実験流し</td><td>850</td><td>700</td></tr><tr><td>料理流し</td><td>820</td><td>700</td></tr><tr><td>化粧鏡</td><td>1,500</td><td>1,400</td><td>1,100</td><td>床面より鏡中心まで</td></tr><tr><td>化粧棚</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>鏡下端より棚上端まで</td></tr><tr><td>水栓流し</td><td>300</td><td>300</td><td>200</td><td>流し床より吐水口まで</td></tr><tr><td>浴 槽</td><td>150</td><td></td><td></td><td>前縁上端より吐水口まで</td></tr><tr><td>浴室洗い場</td><td>300</td><td></td><td></td><td>洗い場床面より吐水口まで</td></tr></table> 注1. 学校の乾式床の和風便器は、便器リムと床土上面を同一面とする。 （学校以外の施設、湿式床の場合は監督員と協議すること。） 注2. 中学校及び高校は、一般寸法とする。ただし、中学校理科室に取り付ける実験流しは、小学校寸法とする。	器具名称	取付け高さ		備 考	一 般	小 学 校 幼 児	壁掛小便器	530	350	床面より前縁上端まで	洗 面 器	750	650	手 洗 器	760	700	実験流し	850	700	料理流し	820	700	化粧鏡	1,500	1,400	1,100	床面より鏡中心まで	化粧棚	100	100		鏡下端より棚上端まで	水栓流し	300	300	200	流し床より吐水口まで	浴 槽	150			前縁上端より吐水口まで	浴室洗い場	300			洗い場床面より吐水口まで
器具名称	取付け高さ		備 考																																													
	一 般	小 学 校 幼 児																																														
壁掛小便器	530	350	床面より前縁上端まで																																													
洗 面 器	750	650																																														
手 洗 器	760	700																																														
実験流し	850	700																																														
料理流し	820	700																																														
化粧鏡	1,500	1,400	1,100	床面より鏡中心まで																																												
化粧棚	100	100		鏡下端より棚上端まで																																												
水栓流し	300	300	200	流し床より吐水口まで																																												
浴 槽	150			前縁上端より吐水口まで																																												
浴室洗い場	300			洗い場床面より吐水口まで																																												
① 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>給 水 引 込 管 （メーター迄）</td><td>・ 水道用ポリエチレン管（2層管1種） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD</td></tr><tr><td>屋 外 埋 設 （メーター以降）</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr><tr><td>屋 内 一 般</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・ 架橋ポリエチレン管 PN15</td></tr><tr><td>土 間（地）中 コンクリート内</td><td>○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr><tr><td>ピ ッ ト 内</td><td>・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・</td></tr></table> 注. 図示なき給水管の最小口径は、呼び径20mmとする。 (1) 水栓は、JIS B 2061（給水栓）によるものであるが、湯用単水栓は全て陶器製ハンドルとする。なお、湯用単水栓と併設して取り付けける水栓についても体裁上必要と思われるものは、陶器製ハンドルを使用し、湯・水の区別表示をする。 (2) シングルレバー式の水栓は、レバーを上げたとき吐水し、下げたとき止水する構造の、下止め方式とする。 (3) 連合流しに使用する水栓（市営住宅を除く）及び監督員の指示した水栓は、節水コマ組み込み型とする。 観メーター（ ・ 貨物品（取付本工事） ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貨物品（取付本工事） ・ 自己財 ） 呼び径25mm以下は、ボール式伸縮止水栓及び逆止弁と併用ボックスとする。 なお、形状、寸法及び50mm以上のボックスについては、鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。 (4) 図面に明記なき場合は下記による。 水道直結部分（ ・ JIS10K ・ ） ポンプ圧送部（ ○ JIS10K ・ JIS5K ） その他の部分（ ・ JIS10K ○ JIS5K ） (5) ハンドル式弁のボックスは、コンクリート製角形とし、キャップ式弁（水道用仕切弁）のボックスはコンクリート製丸形とする。なお、形状、寸法その他は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。 (6) タンクには、揚水管、給水管、排水管、オーバーフロー管、通気管等の接続口及び電極等の取付座（カバー付）を設け、次の付属品を備える。 (1) マンホール（600φ施錠付、降灰対策用内蓋付） (2) はしご ① F R P 製タンク タンク内は合成樹脂製、タンク外は鋼製（溶融亜鉛めっき仕上2種35）又はステンレス鋼製 ② ステンレス鋼板製タンク タンク内は合成樹脂製又はステンレス鋼製 SUS329J4L、タンク外は鋼製（溶融亜鉛めっき仕上2種35）又はステンレス鋼製 (3) 防虫網 通気管及びオーバーフロー管には、合成樹脂製又はステンレス製の防虫網を取付ける。なお、飲料水以外（汚水タンクを除く）の全てのタンクについても上記の管には防虫網を取付ける。 水道事業者への納入手続きを行うこと。 ただし給水負担金は、（ ・ 本工事を含む ・ 別途 ）	区 分	使 用 材 料	給 水 引 込 管 （メーター迄）	・ 水道用ポリエチレン管（2層管1種） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	屋 外 埋 設 （メーター以降）	○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・	屋 内 一 般	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・ 架橋ポリエチレン管 PN15	土 間（地）中 コンクリート内	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・	ピ ッ ト 内	・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・																																			
区 分	使 用 材 料																																															
給 水 引 込 管 （メーター迄）	・ 水道用ポリエチレン管（2層管1種） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD																																															
屋 外 埋 設 （メーター以降）	○ 水道用硬質塩化ビニル管 HI-VP ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・																																															
屋 内 一 般	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・ 架橋ポリエチレン管 PN15																																															
土 間（地）中 コンクリート内	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・																																															
ピ ッ ト 内	・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD ・																																															
② 水栓																																																
3 水道メーター																																																
4 メーターボックス																																																
⑤ 弁類																																																
⑥ 弁ボックス																																																
7 タンク																																																
8 給水負担金																																																
① 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>屋 内 ・ 汚 水 管</td><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・</td></tr><tr><td>屋 内 ・ 雑排水管</td><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・</td></tr><tr><td>屋 内 ・ 通 気 管</td><td>○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・</td></tr><tr><td>屋 外 ・ 第 1 樹迄</td><td>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管（ ○ VP ・ VU ） ・</td></tr><tr><td>屋 外 ・ 樹 間</td><td>○ 硬質塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ） ・</td></tr></table> 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 樹等の形状、寸法等は鹿児島市機械設備工事「標準施工要領」による。 なお、樹のコンクリート部は工場製品としてもよい。	区 分	使 用 材 料	屋 内 ・ 汚 水 管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・	屋 内 ・ 雑排水管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・	屋 内 ・ 通 気 管	○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・	屋 外 ・ 第 1 樹迄	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管（ ○ VP ・ VU ） ・	屋 外 ・ 樹 間	○ 硬質塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ） ・																																			
区 分	使 用 材 料																																															
屋 内 ・ 汚 水 管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・																																															
屋 内 ・ 雑排水管	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・																																															
屋 内 ・ 通 気 管	○ 硬質塩化ビニル管 VP（露出部 VC） ・ 耐火二層管 ・																																															
屋 外 ・ 第 1 樹迄	・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP O42 ○ 硬質塩化ビニル管（ ○ VP ・ VU ） ・																																															
屋 外 ・ 樹 間	○ 硬質塩化ビニル管（ ・ VP ○ VU ） ・																																															
② 洗面器等の排水管																																																
③ 樹類																																																
1 中央監視制御装置	・ 本工事 ・ 別途工事																																															
2 構成その他	図示による。																																															
○ 自動制御設備																																																

① 配管材料	<table><tr><th>種 別</th><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="2">屋内消火栓設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr><tr><td rowspan="2">屋外消火栓設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr><tr><td rowspan="3">ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W</td></tr><tr><td>ポンプ～制御弁</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr><tr><td rowspan="2">連結送水管</td><td>一 般</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS</td></tr></table>	種 別	区 分	使 用 材 料	屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS	連結送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS
種 別	区 分	使 用 材 料																								
屋内消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
屋外消火栓設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ消火設備	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W																								
	ポンプ～制御弁	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																								
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
連結送水管	一 般	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 SGP-W ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）Sch40																								
	地中埋設	・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS																								
2 消火器	大型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 小型消火器（ ・ 本工事 ・ 別途 ）																									
① ガス種別	・ ガス事業法に基づく一般ガス（都市ガス 13A（46.04655MJ/m3）） ・ ガス事業法に基づく簡易ガス（液化石油ガス） ・ 上記以外の液化石油ガス																									
② 配管材料	・ 都市ガス及び簡易ガスを使用する場合で、図示なき部分の配管材はガス事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガスを使用する場合は下記による。 <table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td>屋内一般（露出を除く）</td><td>・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）</td></tr><tr><td>屋内露出</td><td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr><tr><td>地中埋設</td><td>・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）</td></tr></table>	区 分	使 用 材 料	屋内一般（露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）	屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）	地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																	
区 分	使 用 材 料																									
屋内一般（露出を除く）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手）																									
屋内露出	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																									
地中埋設	・ 硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（被覆ねじ込み継手） ・ ポリエチレン外面被覆鋼管（被覆メカニカル継手）																									
3 充てん容器	別途（ ・ 20kg ・ 50kg ）																									
4 集合装置	標準図による。（ ・ 本組 ）																									
5 転倒防止等	標準図の（ ・ （a） ・ （b） ）による。																									
⑥ ガスメーター	親メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） 子メーター（ ・ 貸与品 ・ 自己財 ） ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事																									
① 配管材料	<table><tr><th>区 分</th><th>使 用 材 料</th></tr><tr><td rowspan="2">屋 内 一 般</td><td>・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ） ・ 架橋ポリエチレン管 PN15</td></tr><tr><td>・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP</td></tr><tr><td>地 中 埋 設</td><td>・</td></tr></table>	区 分	使 用 材 料	屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ） ・ 架橋ポリエチレン管 PN15	・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP	地 中 埋 設	・																		
区 分	使 用 材 料																									
屋 内 一 般	・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HWA ・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ・ 被覆ステンレス鋼管（呼び径25mm以下） ・ 鋼管（ ・ M ・ L ） ・ 架橋ポリエチレン管 PN15																									
	・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT-VP																									
地 中 埋 設	・																									
2 弁類	図面に明記なき場合は（ ・ JIS10K ・ JIS5K ）																									
1 届出手続き等	浄化槽法の規定に基づく「浄化槽設置届出書」を所定の時期に鹿児島市浄化槽指導要綱に定める関連図書を添付し、届出を代行すること。 鹿児島市浄化槽法施行細則の規定に基づく浄化槽工事完了検査を受け、検査結果を速やかに監督員に報告すること。																									
2 中間立会い検査等	下記の工事を行う場合は、事前に監督員に連絡し、現場立会い検査及び承諾後施工すること。 ・ 位置の決定：あらかじめ設計図の配置に基づいて仮の位置決めを行い承諾を受ける。 ・ 配 筋：配筋終了後、片側仮枠の状態で立会い検査を受ける。 ・ コンクリート打設：コンクリート打設前に各槽の寸法、壁厚等のチェックリストを作成し、承諾を受ける。 ・ 搬入据付け：ユニット形浄化槽の搬入及び据付け時には、槽の規格、型式等の確認及び据付け状態の立会い検査を受ける。 ・ 試験その他：水張り試験（24時間）、その他監督員の指示する試験及び試運転調整等は立会い検査を受ける。																									
3 取扱い説明等	試験調整後、所要の時期に浄化槽管理者及び浄化槽管理者が委託した浄化槽管理士など関係者に対し、取扱い説明を十分に行う。 なお、試験調整並びに取扱い説明等に必要な資機材及び労務等を提供し、これに要する費用を負担する。																									
4 付属品等	標準仕様書によるほか、下記品目を備える。 ・ マンホール引手 1組 ・ 消毒薬剤 1式（1回投入分）																									
5 送風機	原則として、防振ゴム、防振架台等で防振対策を施したものとし、騒音の大きなものは、騒音対策を行う。																									
6 点検口蓋	図示なき場合は下記による。ただし、ユニット形で図示なき場合は、製造者の標準仕様とする。 (1) 防 臭 蓋：鉄製耐圧型（SHASE-S、安全荷重 14,700N）以上 なお、蓋は錠付又はステンレス製ボルト固定式とする。 (2) 鋼板製蓋：板厚4.5mm以上の鉄鋼板に溶融亜鉛めっきを施したもの又はステンレス鋼鋼板（SUS 304）製で、取手又は取手取付穴付きとし、1人で開閉できる重量に分割加工する。なお、蓋はステンレス製ボルト固定式とする。 (3) 浄化槽法に基づく型式認定品とするが、あらかじめ使用する機種の認定シート等の関連図書を提出し、監督員の承諾を得ること。 (4) 開閉の機器寸法は参考寸法とする。 (5) 保護工作物が別途工事の場合においては、保護工作物の施工業者と収まり等について、十分に打ち合わせを行うこと。 使用する機種が別途保護工作物内に収まらず、工作物の寸法を変更する必要がある場合は、変更に関わる全ての費用を本工事で負担する。																									
7 ユニット型浄化槽																										
8 支持金物等	槽内の支持金物及びボルト・ナット類は全てステンレス鋼製（SUS304）とする。 <table><tr><td colspan="3">紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事</td></tr><tr><td>特記仕様書(2)</td><td>No Scale</td><td>2</td></tr><tr><td colspan="2">鹿児島市建設局建築部設備課</td><td>全 2 8</td></tr></table>	紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事			特記仕様書(2)	No Scale	2	鹿児島市建設局建築部設備課		全 2 8																
紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事																										
特記仕様書(2)	No Scale	2																								
鹿児島市建設局建築部設備課		全 2 8																								

石綿含有保温材等及び石綿含有成形板等除去特記事項		Ⅱ．石綿含有保温材等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		Ⅳ．石綿含有仕上塗材の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する													
Ⅰ．共通事項 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		Ⅲ．石綿含有成形板等の撤去等 ○印の付いた「番号」「・」の項目を適用する		Ⅰ 撤去作業													
① 石綿含有対象建材	本工事に係る石綿含有建材は次のとおりとする。 但し、事前調査を行い、新たに石綿含有が確認された場合や含有が疑われる場合は、速やかに監督員に報告を行い適切に処理すること。 石綿含有建材の有無 ○有 ・ 無 ・ その他（ ） 石綿含有建材の種別 ・ 石綿含有保温材等 ・ 石綿含有成形板等 ○石綿含有仕上塗材 <table><tr><th>石綿含有建材</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td>クリソタイル</td><td>外壁(既存校舎1号棟)</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	石綿含有建材	使用箇所	クリソタイル	外壁(既存校舎1号棟)									2. 撤去作業  ・ 石綿含有成形保温材付き配管の撤去 成形保温材付き配管の撤去は、原則として切断による方法とする。 (1) 撤去方法 ① 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 ② ビニールシート等で成形保温材を包み、配管表面でテープ止めとし、密閉する。 ③ 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 ④ 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ⑤ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防護マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ① 撤去した成形保温材付き配管は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で、特別管理産業廃棄物であることを表示し、構外搬出処理とする。 ② マニフェスト票の備考欄に「廃石綿」であることを明示し、適正に処分すること。 		○石綿含有仕上塗材の撤去 石綿含有仕上塗材の撤去は、原則として飛散防止のために十分な集塵機能を有する電動工具を用いる方法とする。 (1) 撤去方法 ・ 穿孔 ① 十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用し穿孔すること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防護マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 ・ コア抜き(ダイヤモンドカッターによる) ①コア抜き作業により影響を受ける石綿含有仕上塗材を撤去する。十分な集塵機能を有する電動工具を適切に使用しコア抜きすること。 ② 撤去後は、高性能真空掃除機(HEPAフィルター付き)にて清掃すること。 ③ 作業にあたっては呼吸用保護具(使い捨て式防護マスク不可)、保護メガネ、手袋、専用の作業衣を着用すること。 (2) 処分方法 ①回収した仕上塗材は、プラスチック袋等で二重に梱包し密封した上で運搬、廃棄を行うこと。 ② マニフェスト票の備考欄に「石綿含有仕上塗材」であることを明示し、適正に処分すること。  外壁面等コア抜き要領 コア抜き 石綿含有仕上塗材を集塵機能付き電動工具により撤去する。 穿孔機セット用アンカー 石綿含有仕上塗材撤去範囲	
石綿含有建材	使用箇所																
クリソタイル	外壁(既存校舎1号棟)																
② 関係法令の遵守	大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、労働安全衛生規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守すること。 また国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の次の図書についても遵守すること。 (1) 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） (2) 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） (3) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） (4) 建築物解体工事共通仕様書・同解説																
③ 事前調査	施工に先立ち改修、解体等の対象建材について石綿等使用の状況を監督員に確認した上で事前調査を行うこと。なお、建築物及び令和8年1月以降に着工する工物に係る事前調査は、適切に当該調査を実施するために必要な知識を有する者として厚生労働大臣及び環境大臣が定める者が行うこと。 また、法令に基づき速やかにその結果を鹿児島市環境保全課及び労働基準監督署に報告すること。報告は、原則として石綿事前調査報告システムから電子申請で行うこと。 さらに、監督員に書面で別途説明すること。 建築物の構造上、解体等工事に着手する前に目視することができない箇所にあつては、解体等工事に着手した後に目視が可能となった時点で調査を行い、再度報告及び説明を行うこと。 (1) 事前調査の結果に基づき、施工計画書(作業管理組織図、作業方法、揭示方法、産業廃棄物処理方法)を作成して監督員に提出すること。 (2) 施工計画にあたり、令和3年3月厚生労働省及び環境省作成「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。 (3) 作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないように留意すること。 (4) 使用器具・機械類等は、石綿含有建材の撤去等に必要で適切な工具・機器類等であること。																
④ 施工計画																	
⑤ 揭示	(1) 大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を揭示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。 (2) 必要に応じて周辺住民等へ揭示等で周知すること。																
⑥ 作業者	(1) 石綿障害予防規則に定める「石綿作業主任者」が作業管理者となり、その作業管理者の指示に従って作業すること。 (2) 作業者は、就業時に石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とする。																
⑦ 保管	(1) 現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、ほかの建設副産物等と分別して保管し、シート等で覆うなど、飛散防止措置を講ずること。 (2) 保管場所には、廃石綿等の保管場所であることの表示を行うこと。																
⑧ 運搬	(1) 石綿含有建材の廃材を高所から移動する場合は、揚重機を使用して、高所より投下しないこと。 (2) 石綿含有建材の廃材の集積、積み込みに当たっては、廃棄物の積み替え移動回数を最小限にすること。 (3) 石綿含有建材の廃材の運搬車及び運搬容器は、当該建材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車両の荷台に覆いをかけるなど、飛散防止措置を講ずること。																
⑨ 後片付け	(1) シート等により区画、隔離した場合において、作業に使用した工具、足場等は付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 また、作業衣及び呼吸用保護具も、廃棄のために袋に入れた場合以外は、付着した石綿を除去した後、作業場外へ持ち出すこと。 (2) 区画、隔離養生に用いたシート等を再使用する際は、区画、養生を片付ける前に高性能真空掃除機等により付着した粉じんを除去すること。 (3) 区画、隔離等に用いたシート等を処分する際は、石綿繊維等粉じん付着面を内側に折りたたんだ後に密封処理を行い、石綿含有建材同様の処理を行うこと。																
⑩ 作業の結果の報告	除去作業が完了したときは、その結果を遅滞なく監督員へ書面で報告すること。																



工 事 区 分 表

工事項目		給排水衛生 設備工事 (本工事)	電気設備工事	建築工事	備考
1	梁貫通スリーブ	○	○		
2	同上用開口補強			○	
3	P S 点検口			○	
4	天井点検口 (開口補強共)			○	
5	床下点検口 (開口補強共)			○	
6	外構舗装 (アスファルト及びコンクリート舗装)			○	
7	シャワーユニット (特別支援教室 2 ・職員更衣室 (男女))			○	
8	同上用排水トラップ			○	
9	同上用シャワー水栓			○	
1 0	同上用給水 ・ 給湯 ・ 排水管接続	○			
1 1	同上用電源 ・ スイッチ ・ 配線		○		
1 2	ガス給湯器	○			
1 3	同上用電源		○		
1 4	屋内消火栓 (広範囲型 2 号消火栓)	○			
1 5	同上用発信機 ・ 表示灯		○		
1 6	消火器 (消火器ボックス共)			○	
1 7	調理台 (家庭科室 (調理))			○	
1 8	同上用水栓			○	
1 9	同上用ガス栓	○			
2 0	同上用給水 ・ 排水 ・ ガス管接続	○			
2 1	実験台 (理科室 1 ・ 2)			○	
2 2	同上用水栓			○	
2 3	同上用ガス栓	○			
2 4	同上用給水 ・ 排水 ・ ガス管接続	○			
2 5	衛生器具面台 (トイレの洗面器用カウンター共)			○	
2 6	同上用給水 ・ 排水管接続	○			

工 事 区 分 表

工事項目		給排水衛生 設備工事 (本工事)	電気設備工事	建築工事	備考
2 6	台所流し (理科準備室 ・ 家庭科準備室)			○	
2 7	同上用排水トラップ			○	
2 8	同上用水栓	○			
2 9	同上用ガス栓	○			
3 0	同上用給水 ・ 排水 ・ ガス管接続	○			
3 1	流し (廊下 ・ 特別教室)			○	
3 2	同上用排水目皿			○	
3 3	同上用水栓	○			
3 4	同上用給水 ・ 排水管接続	○			
3 5	洗濯機パン	○			
3 6	同上用排水トラップ	○			
3 7	同上用水栓	○			
3 8	同上用給水 ・ 排水管接続	○			
3 9	手すり (車椅子対応便器 ・ 洋風大便器 ・ 小便器用)	○			
4 0	足洗い場 (屋外)			○	
4 1	同上用排水目皿			○	
4 2	同上用水栓	○			
4 3	既設廊下流し撤去 ( 1 号棟)			○	
4 4	同上用水栓及び給水 ・ 排水管撤去	○			



衛生設備器具表 1

品 名	仕 様	規 格 品 番 附 属 品 及 び そ の 他		1 階			2 階			3 階			4 階			合 計
				男子トイレ	女子トイレ	バリアフリートイレ	男子トイレ	女子トイレ	バリアフリートイレ	男子トイレ	女子トイレ	バリアフリートイレ	男子トイレ	女子トイレ	バリアフリートイレ	
		L I X I L	T O T O													
車椅子対応大便器	ロータンク(手洗いなし)、普通便座(蓋なし) リモコンユニット、紙巻器 SUS製汚物流し	BC-220SK-AY、DT-K250CH CF-39CK-K、CWA-67B、CF-AA23D その他付属品一式、SUS製汚物入れ	CS20AB、SH30BAVA TC291V86、HE15JR、YH51R、 その他付属品一式、SUS製汚物入れ			1			1			1			1	4
洋風大便器	ロータンク(手洗いなし) ※6L調整 、普通便座(蓋あり)棚付二連紙巻器	BC-P20SU-AY、DT-PA250UCHTK CF-49AT、CF-AA64S、その他付属品一式、汚物入れ	CS597BS、SH596BAYR TC301、YH702、その他付属品一式、汚物入れ	3	7		3	7		3	7		3	7		40
小便器	壁掛小便器、手動フラッシュバルブ	U-406RU、UF-3J、その他付属品一式	UFH500、TG600PN、その他付属品一式	4			4			4			4			16
車椅子対応洗面器	壁掛洗面器、自動水栓	L-275FCR、AM-300CV1、その他付属品一式	L270C、TLE28SS1A、その他付属品一式			1			1			1			1	4
洗面器	カウンター式洗面器、自閉式立水栓	L-2594FC、LF-P03B、その他付属品一式	L525RCU、TL19AR、その他付属品一式	2	2		2	2		2	2		2	2		16
手洗い器	埋込手洗器、自閉式水栓	AWL-71UAP(P)、その他付属品一式	LSK570APR、その他付属品一式			1			1			1			1	4
オストメイトバック	タッチスイッチ式、ホース引出し水栓 水石鹸入れ、ワンタッチ式紙巻器、側板	PTOM-B210、PTOM-ESCR その他付属品一式	UAS81RNC2NW、UTR141、その他付属品一式			1										1
掃除流し	バック付掃除流し、横水栓	S-202A、LF-7E-19-U、SF-20SAF-P その他付属品一式	SK22A、T23AE20C、T37SGEP その他付属品一式	1	1		1	1		1	1		1	1		8
手すり	L型手すり、樹脂被覆、L=700	KF-920AE70D12J	T112CL10	1	1		1	1		1	1		1	1		8
手すり	L型手すり、樹脂被覆、L=800	KF-926AE80D25J	T112CL11			1			1			1			1	4
手すり	跳ね上げ式手すり、樹脂被覆、L=800	—	T112H8R			1			1			1			1	4
手すり	小便器用手すり、樹脂被覆	KF-701AEJ	T112CU22	1			1			1			1			4
化粧鏡	450×600	KF-4560AE	YM4560AE	2	2		2	2		2	2		2	2		16
化粧鏡	車椅子対応鏡、450×900	KF-W457H900	YM4560AE__トク			1			1			1			1	4
ベビーシート	横型	AC-OK-21F	YKA25N			1										1
ベビーチェア	平面設置型	AC-BK-F62	YKA15S			1										1

衛生設備器具表 2

品名	仕様	規格品番附属品及びその他		1階							2階				3階				4階				屋外	合計
				コンテナ室	特別支援教室2	技術準備室	木工室	職員更衣室(男)	職員更衣室(女)	廊下	理科室1	理科準備室	理科室2	廊下	図書室	家庭科室(調理)	家庭科準備室	廊下	美術室	美術準備室	音楽準備室	廊下		
		LIXIL	TOTO																					
洋風大便器	ロータンク(手洗いあり) ※6L調整 普通便座(蓋なし)、棚付二連紙巻器	BC-P20SU、DT-PA280UCH CF-39CK-K、CF-AA64S、その他付属品一式	CS597BS、SH597BAR TC291J、YH702、その他付属品一式		1																			1
洗面器	壁掛洗面器、立水栓	L-176UAN、LF-E01、その他付属品一式	L250CM、TLC11AR、その他付属品一式			1									1					1	1			4
マルチ流し	壁掛洗面器、立水栓	－	SK510D、TL155AFR、その他付属品一式	1	1																			2
掃除流し	バック付掃除流し、横水栓	S-202A、LF-7E-19-U、SF-20SAF-P その他付属品一式	SK22A、T23AE20C、T37SGEP その他付属品一式							1				1				1				1		4
手すり	L型手すり、樹脂被覆、L=700	KF-920AE70D12J	T112CL10		1																			1
化粧鏡	450×600	KF-4560AE	YM4560AE		1	1				14				14	1			14		1	1	14		61
洗濯機パン	800サイズ、鋳鉄トラップ(縦引き)	PF-8064AC、TP-51	PWP800N2W、PJ2004B													1								1
水栓	混合水栓(電気温水器対応)	SF-HE421SXHK	TKS05302J									1					1							2
水栓	横水栓(吐水口回転形) F6	LF-7KR-13	T200SNR13C				7			14	7		7	14				14	7			14	2	86
水栓	洗濯機用水栓、緊急止水急弁付横水栓	LF-WJ50KQA	TW11R													1								1
水栓	散水栓用、ホース接続形	LF-13G-13-CV	T28KUNH13																			2		2
ガス栓	1口LAホースガス栓10mm	－	－								12	1	12			10	1							36
ガス栓	2口LAホースガス栓10mm	－	－								1		1											2

衛生設備機器表

記号	名称	仕様	数量	設置場所	備考
<div><div>HB</div><div>4B</div></div>	広範囲型2号屋内消火栓	型式：埋込型、指定色焼付塗装、消防認定品	8	廊下(1～4階)	
		参考寸法：600mm(W)×200mm(D)×1, 200mm(H)			
		付属品：消火栓弁25φ×90°、ノズル25φ、ホース30m×1本、ホース掛(ツインローラー式)、操作法シール			
<div><div>WHG</div><div>1</div></div>	ガス瞬間式給湯器 潜熱回収型	型式：屋外設置壁掛形	3	屋外 ・職員更衣室(男) ・職員更衣室(女) ・特別支援教室2	
		出湯能力：16号、都市ガス、ダイレクト着火方式			
		付属品：配管カバー(H=1, 200)(カラー亜鉛メッキ鋼板製)			
		機器周辺部材：逆止弁ボール止水弁15×15、中間ガス栓20φ、接続フレキ、強化ガスホース			
<div><div>WHE</div><div>1</div></div>	電気温水器	型式：台下設置貯湯式 ウイークリータイマー機能付	2	2階理科準備室 3階家庭科準備室	
		貯湯量：12L、給湯温度：約60℃、電源：1φ×100V、消費電力：600W			
		付属品：フローキャッチャー、アングル形止水栓、その他付属品一式			
		機器周辺部材：接続フレキ			

配管凡例表

記 号	名 称	規 格 ・ 仕 様		
―― - ――	給水管	屋外埋設（５０φ以下）	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	H I V P
		屋内一般・P S内	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	S G P－V B
		屋外埋設（６５φ以上） 屋内土間・面台内・ピット内	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	S G P－V D
――   ――	給湯管	屋内一般	被覆ステンレス鋼管（プレス式）	S U S
―― ―――	排水管	屋外埋設（第１櫓迄）	硬質ポリ塩化ビニル管	V P
		屋外埋設（櫓間）	硬質ポリ塩化ビニル管	V U
		屋内一般・P S内	硬質ポリ塩化ビニル管	V P（露出部V C）
		屋内土間・面台内・ピット内	硬質ポリ塩化ビニル管	V P
-----	通気管	屋内一般・P S内	硬質ポリ塩化ビニル管	V P（露出部V C）
		屋内土間・ピット内	硬質ポリ塩化ビニル管	V P
		屋外露出	カラー硬質塩化ビニル管	V C
―― G ――	ガス管	屋外埋設	ガス用ポリエチレン管	P E
		屋内一般・P S内	外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	V I
			配管用炭素鋼鋼管（白）	S G P（白）
		屋内土間	外面硬質塩化ビニルライニング鋼管	V I
―― X ――	消火管	屋外埋設	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	S G P－V S
		屋内一般・P S内	配管用炭素鋼鋼管（白）	S G P（白）
		屋内土間・ピット内	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	S G P－V S
□	埋設表示柱	屋外（土部分）	コンクリート製	
◎	地中埋設標	屋外（舗装部分）	鉄製（キャッツアイ）	

※プレス式継手施工の際は、継手メーカーの施工マニュアルに記載の施工要領・工具・手順を遵守すること。

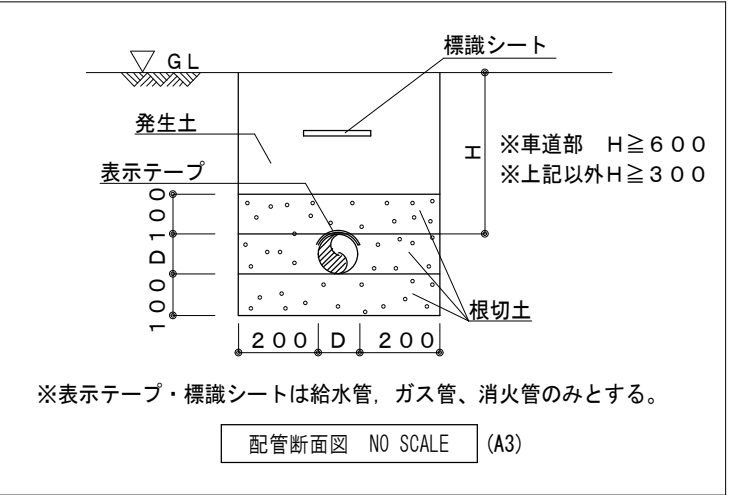
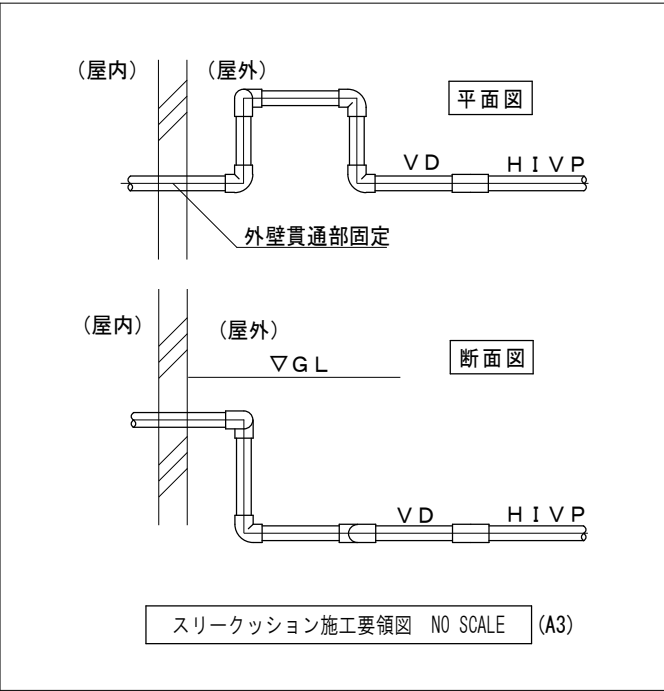
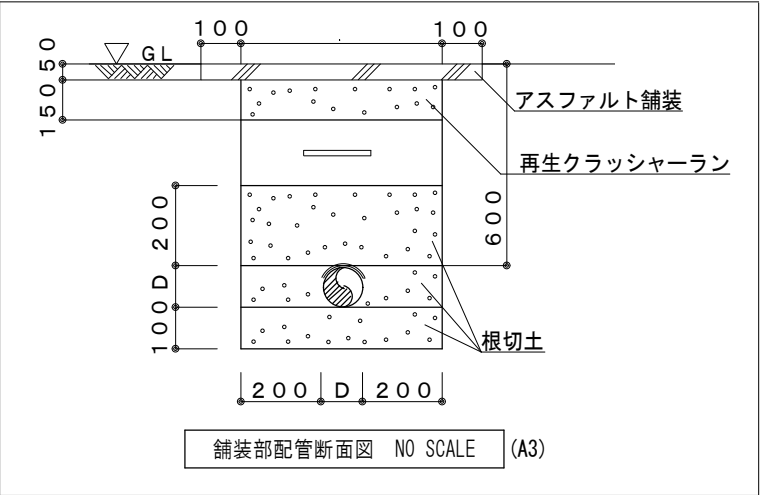
なお、施工は継手メーカーによる技能講習を受けた者が行うこと。

※ガス管の配管材についてガス事業者の供給規定によること。

※給水管（S G P－V B，V D）に取り付ける弁は、管端防食ねじ込み形弁の給水用とすること。

保 温 ・ 塗 装 仕 様 一 覧

施 工 場 所	工 事 種 別					
	給水	給湯	排水	通気	ガス	消火
屋外埋設	C	－	C	－	C	C
屋内土間	C	－	C	C	C	－
P S内	B	－	C	C	C	C
天井内	B	－	B	C	C	C
屋外露出	A	G	－	－	C	－
ピット内	C	C	C	C	－	C
面台内	C	C	C	－	C	－
給湯器廻り	A	G	－	－	C	－
給湯器廻り（フレキ）	E	F	－	－	－	－
保 温 ・ 塗 装 仕 様						
A 保温（外装 ステンレス） B 保温（外装 アルミガラスクロス） C 保温、塗装なし D 調合ペイント（塩ビ管：OP 2回） （鋼管：エッチングプライマー＋錆止め＋OP 2回） E 保温チューブ巻 F 耐熱保温チューブ巻 G 保温化粧力カバー H 保温（外装：合成樹脂力カバー 2） I 保温（外装：カラー亜鉛鉄板）						





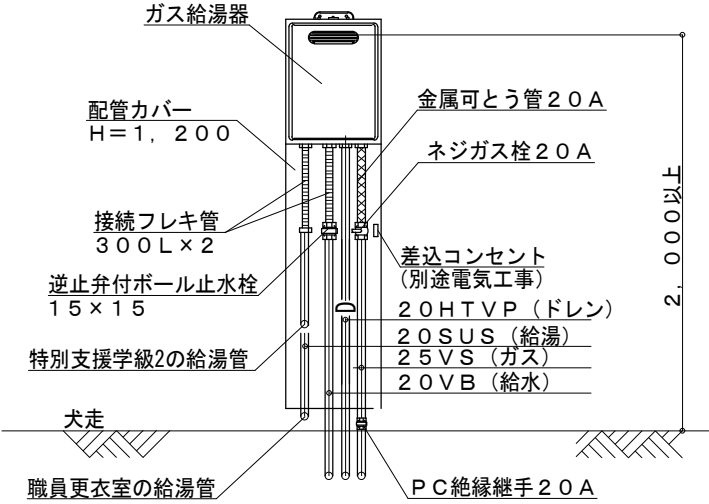
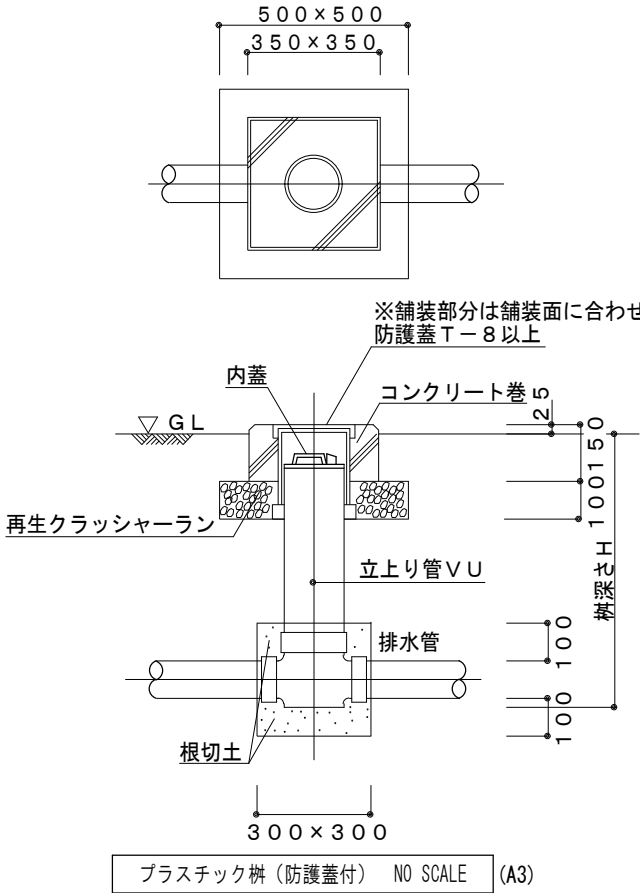
樹 リ ス ト

記 号	名 称	サ イ ズ	樹 深 さ (管 底)	蓋 種 別	区 分		
					新設	既設	撤去
①	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (90L)	900	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
②	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	910	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
③	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	920	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
④	プラスチック樹 (排水樹)	150×200 (90L)	950	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑤	プラスチック樹 (排水樹)	150×200 (ST)	1,030	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑥	トラップ樹 (TRC-2)	600×600	900	MHA600	○		
⑦	プラスチック樹 (排水樹)	150×200 (45Y)	1,110	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑧	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (90L)	900	防護蓋T-14(内蓋共)	○		
⑨	プラスチック樹 (排水樹)	150×200 (45Y)	1,210	防護蓋T-14(内蓋共)	○		
⑩	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (90L)	900	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑪	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	1,020	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑫	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	1,070	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑬	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	1,180	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑭	プラスチック樹 (排水樹)	150×200 (DRY)	1,260	防護蓋T-14(内蓋共)	○		
⑮	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (90L)	900	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑯	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	930	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑰	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (ST)	1,030	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑱	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	1,140	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑲	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	1,160	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
⑳	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,170	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
㉑	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,190	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
㉒	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,200	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
㉓	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (ST)	1,260	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
㉔	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,330	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
㉕	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (ST)	1,400	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
㉖	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (90L)	900	塩ビ蓋	○		
㉗	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	920	塩ビ蓋	○		
㉘	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (DRY)	1,460	塩ビ蓋	○		
㉙	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (90L)	1,080	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
a	インパート樹 (排水樹)	900×900	1,700	MHD600		※	
b	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (90L)	1,280	防護蓋T-8(内蓋共)	○		
c	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (90L)	1,310	防護蓋T-8(内蓋共)		※	
d	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (90L)	1,320	防護蓋T-8(内蓋共)		※	
e	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,360	防護蓋T-8(内蓋共)		※	
f	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (90L)	1,400	防護蓋T-8(内蓋共)		※	
g	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,430	防護蓋T-8(内蓋共)		※	
h	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,460	防護蓋T-8(内蓋共)		※	
i	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (ST)	1,520	防護蓋T-8(内蓋共)		※	
j	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (ST)	1,550	塩ビ蓋		※	
k	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (ST)	1,470	塩ビ蓋		※	
l	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (ST)	1,710	塩ビ蓋		※	
m	プラスチック樹 (排水樹)	150×200 (45Y)	1,810	塩ビ蓋		※	
n	プラスチック樹 (排水樹)	150×200 (ST)	1,900	塩ビ蓋		※	

注) プラスチック樹はコンクリート根巻を施す。

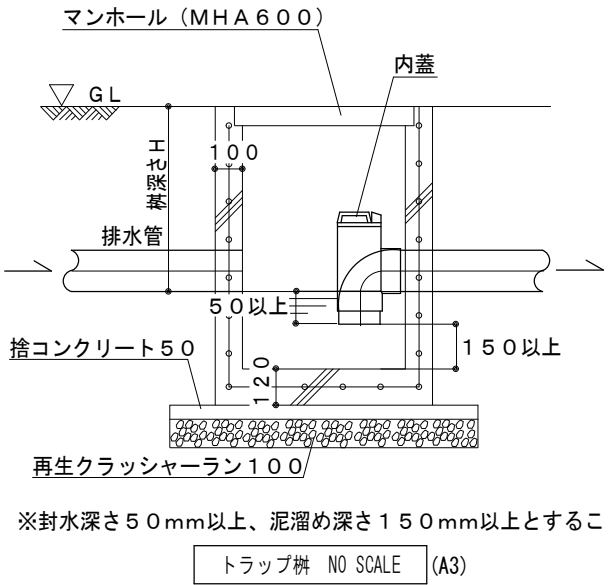
注) 樹蓋はSUS製鎖付とする。

注) 「※」の既設樹については、外構に合わせて蓋の高さの調整を行うもの。なお、㉔インパート樹については蓋を更新する。



※ガス給湯器は、排気口は開口部または雨樋等の可燃物から必要とされる離隔を確保すること。  
※差込コンセントは、配管カバー内に納めること。  
※特別支援学級2の給湯管は壁貫通、職員更衣室の給湯管は床スラブと地中梁間に配管すること。

ガス給湯器施工要領図 NO SCALE (A3)



※封水深さ50mm以上、泥溜め深さ150mm以上とすること。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号

株式  
会社

西栄設備事務所

一級建築士 第 376369 号

榎木 信彦

紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事

樹リスト・施工要領(給排水衛生設備)

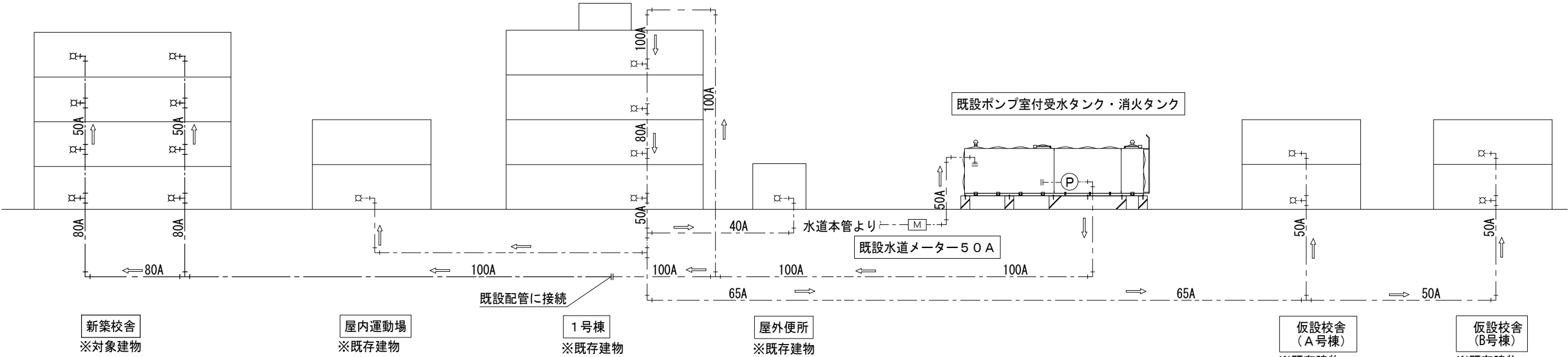
NO SCALE

9

鹿児島市建設局建築部設備課

全28

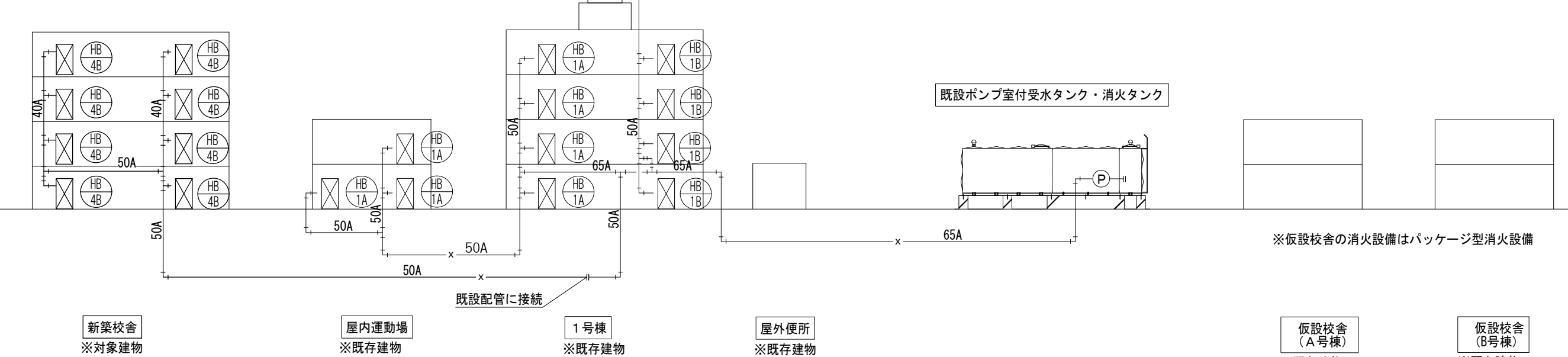
※詳細は系統図(給排水衛生設備)参照



給水設備全体系統図 NO SCALE (A3)

※太線は新設設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

※詳細は系統図(給排水衛生設備)参照



消火設備全体系統図 NO SCALE (A3)

※太線は新設設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

※仮設校舎の消火設備はパッケージ型消火設備

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
株式会社 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事

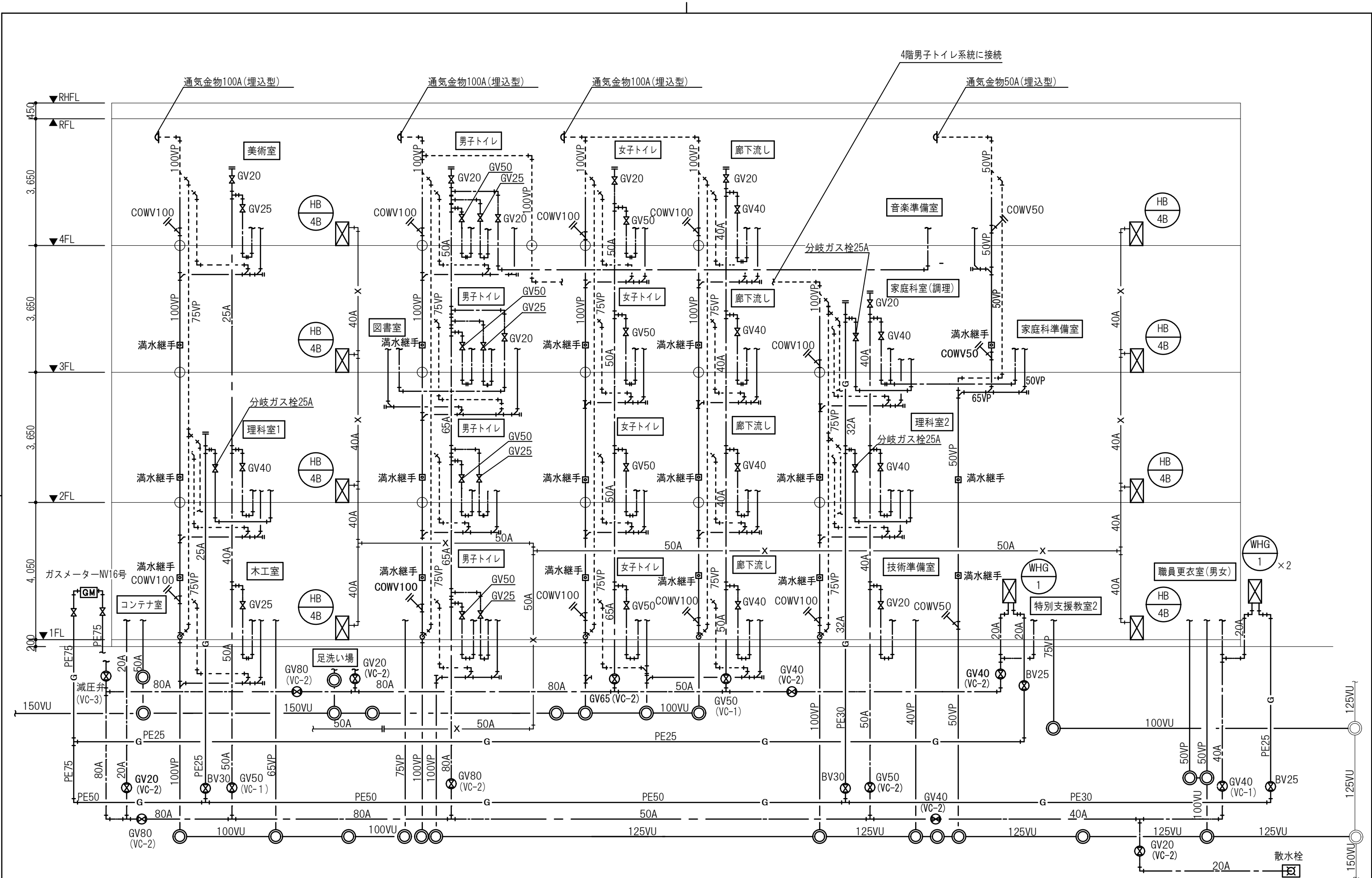
給水・消火設備全体系統図  
(給排水衛生設備)

NO SCALE

10

鹿児島市建設局建築部設備課

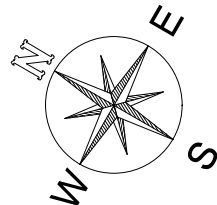
全28



系統図(給排水衛生設備) NO SCALE (A3)

※太線は新設設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。  
※給水用バルブはすべて10Kとすること。  
※○は防火区画貫通部処理(国土交通大臣認定工法)を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 榎木 信彦			紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事		
系統図(給排水衛生設備)		NO SCALE	1 1		
鹿児島市建設局建築部設備課			全 2 8		



※新設  
ガスメーターNV16(一般用)

※既設  
ガスメーターNV15(一般用)  
※既設  
ガスメーターNV16(GHP用)

※既設  
水道メーター50A(本設)

※既設  
ポンプ室付受水タンク・消火タンク

※既設  
ガスメーターNV10(仮設校舎用)

体育倉庫

弓道場

仮設校舎A棟

仮設校舎B棟

1号棟

新築校舎

運動場

※既設  
水道メーター50A(散水用)

更衣室

屋内運動場

キュービクル

農業倉庫

物品倉庫

屋外配管図(全体) S=1/500 (A3)

※太線は新設設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
一級建築士 第376369号  
樋木 信彦

紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事

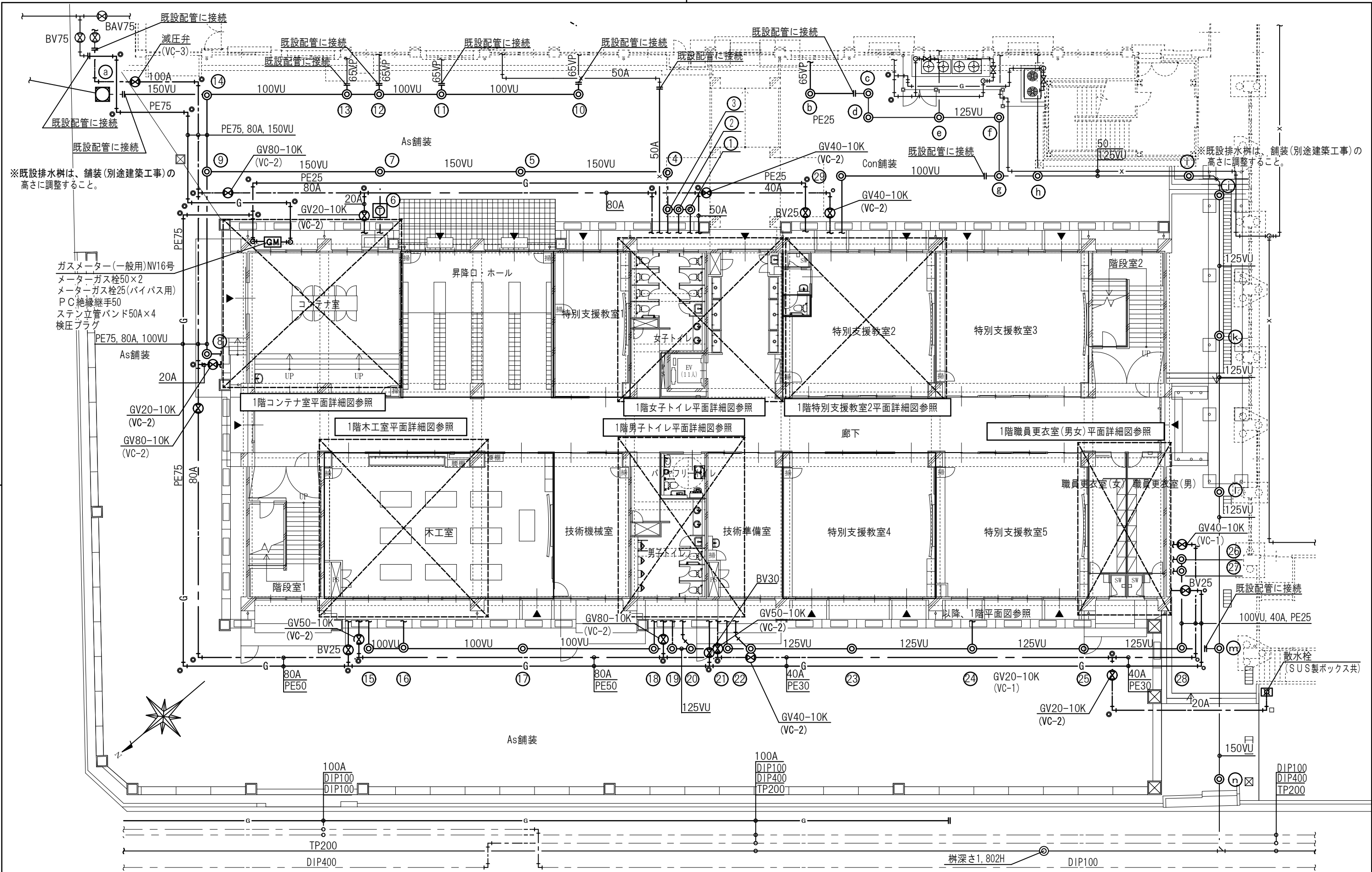
屋外配管図(全体)  
(給排水衛生設備)

A3:S=1/500

12

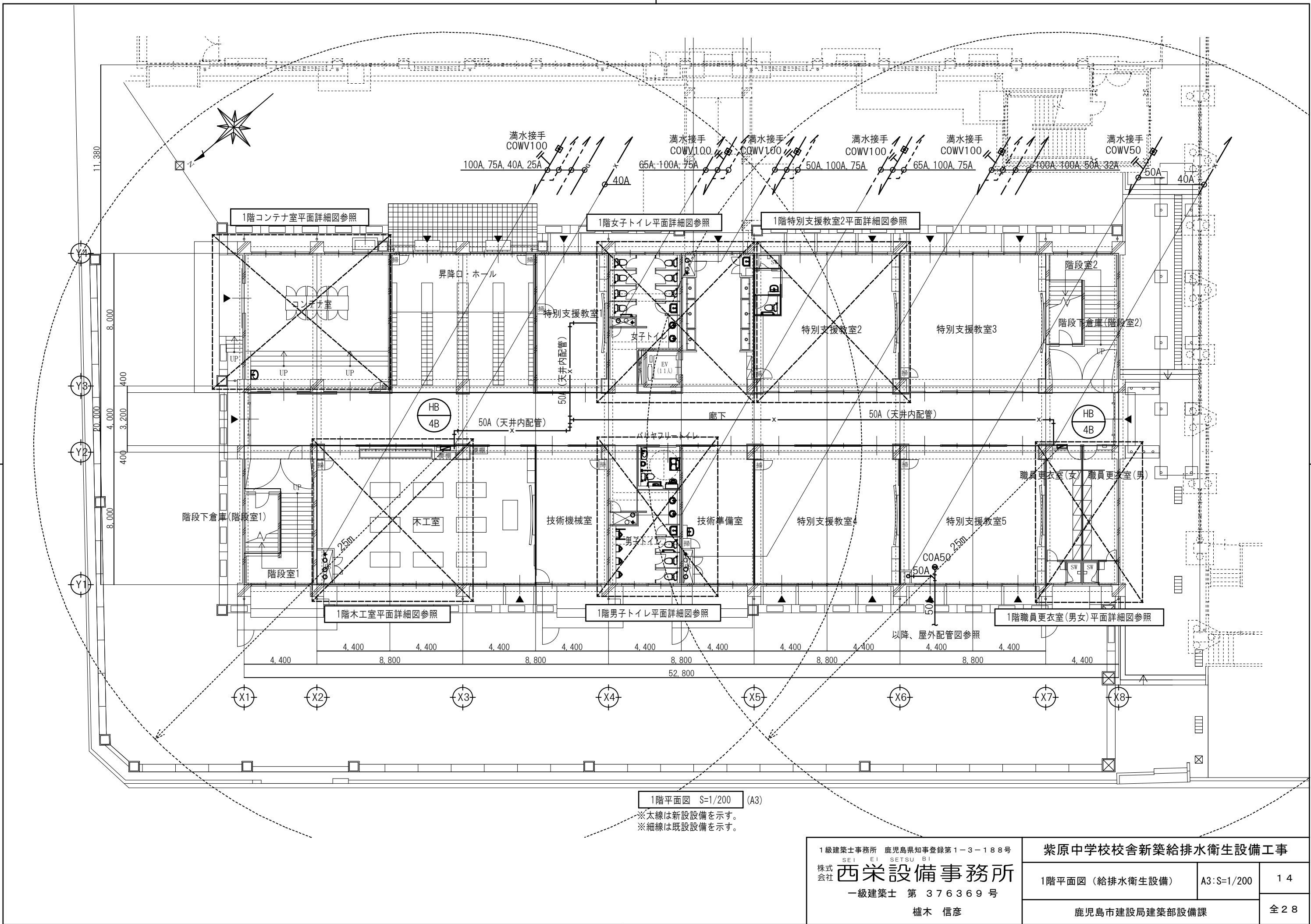
鹿児島市建設局建築部設備課

全28



屋外配管図 S=1/200 (A3)  
※太線は新設設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 <b>西栄設備事務所</b> 一級建築士 第 376369号 榎木 信彦			紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事		
屋外配管図(給排水衛生設備)			A3:S=1/200	1 3	
鹿児島市建設局建築部設備課			全 2 8		



1階平面図 S=1/200 (A3)

※太線は新設設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。

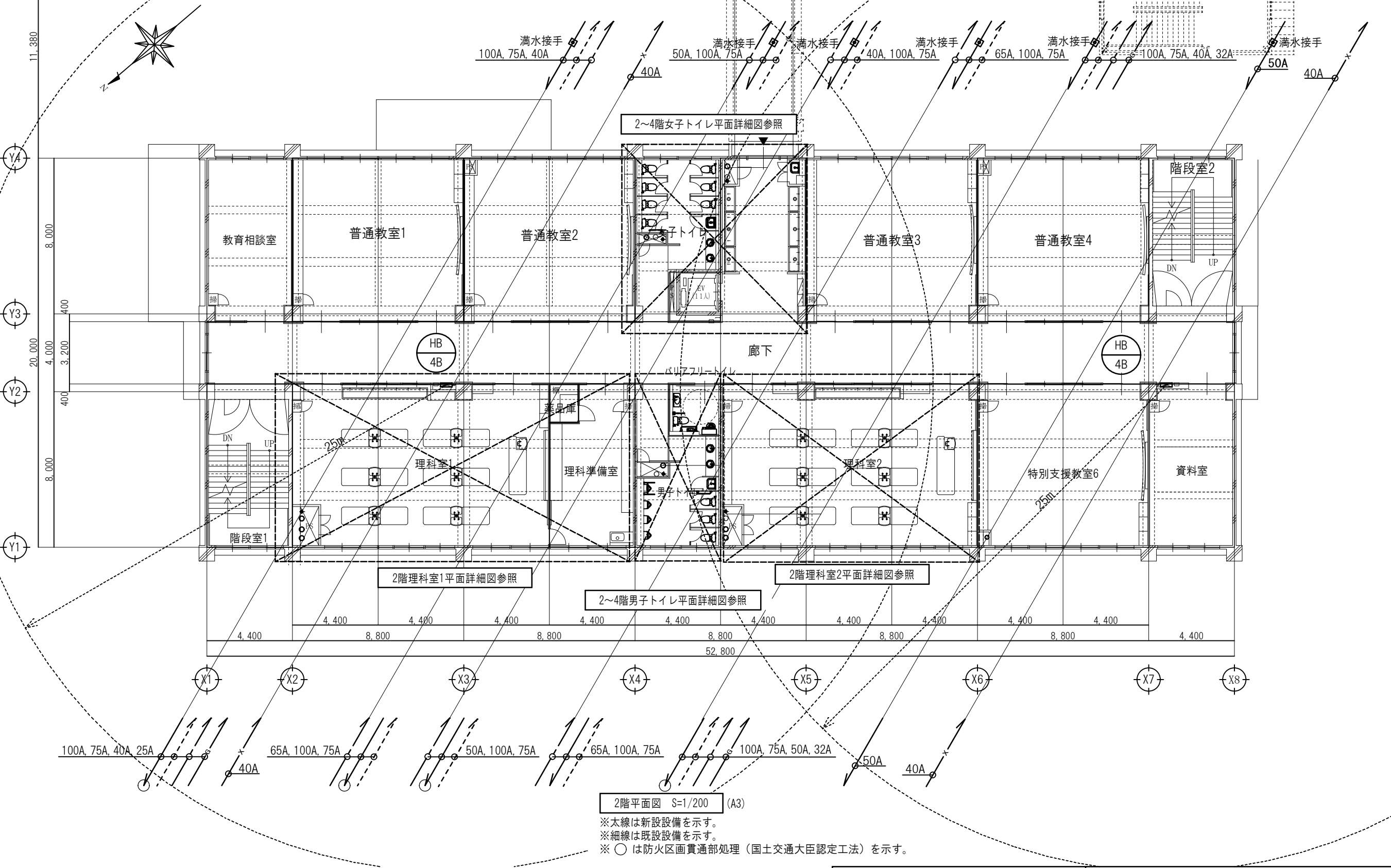
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社 一級建築士 第 376369号  
榎木 信彦

紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事

1階平面図（給排水衛生設備） A3:S=1/200 1 4

鹿児島市建設局建築部設備課 全 2 8



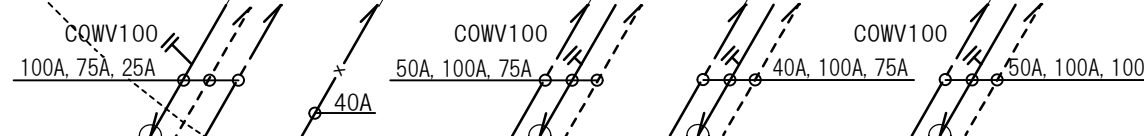
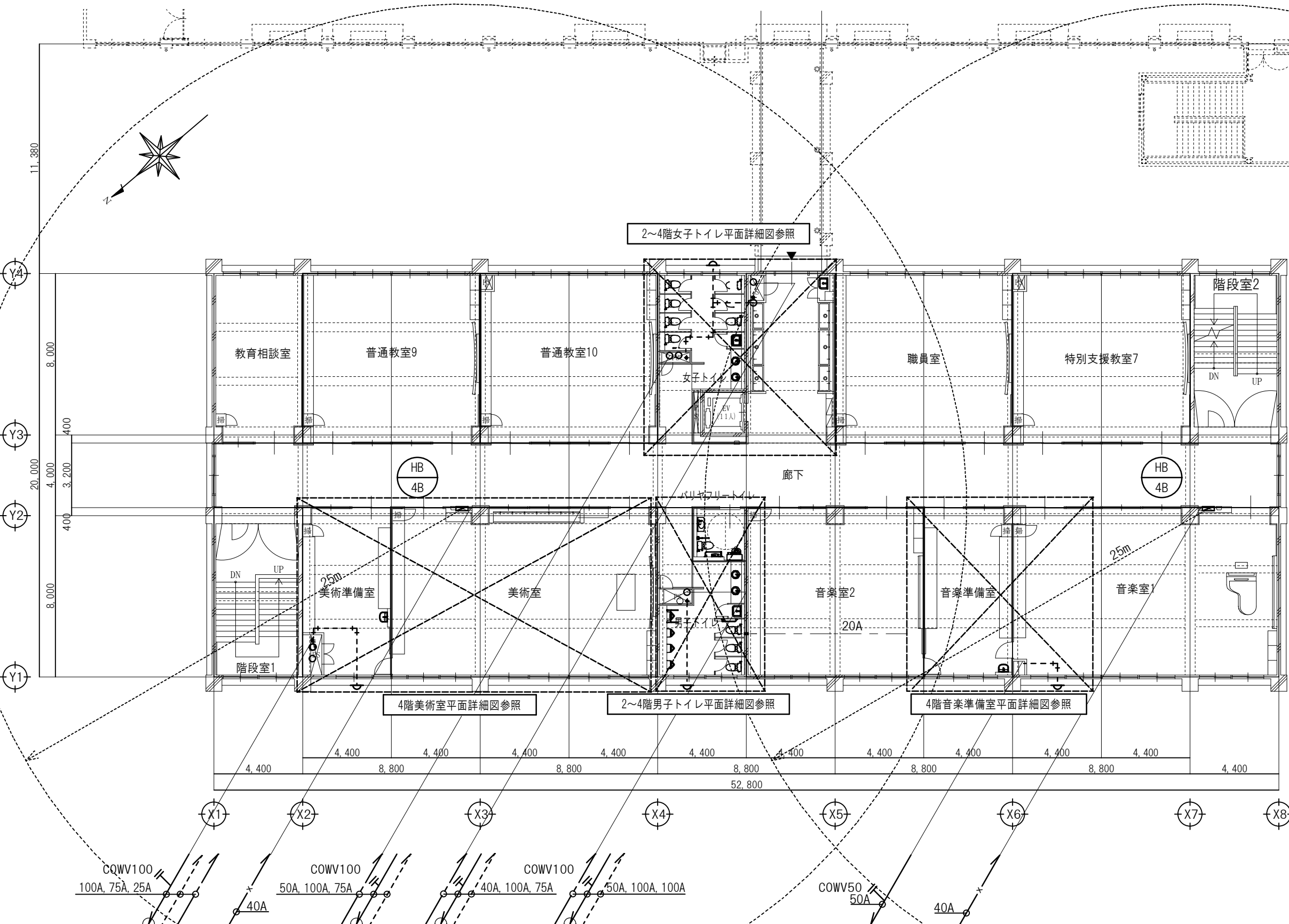


2階平面図 S=1/200 (A3)

※太線は新設設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。  
※○は防火区画貫通部処理（国土交通大臣認定工法）を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦		紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事	
2階平面図（給排水衛生設備）		A3:S=1/200	15
鹿児島市建設局建築部設備課		全28	





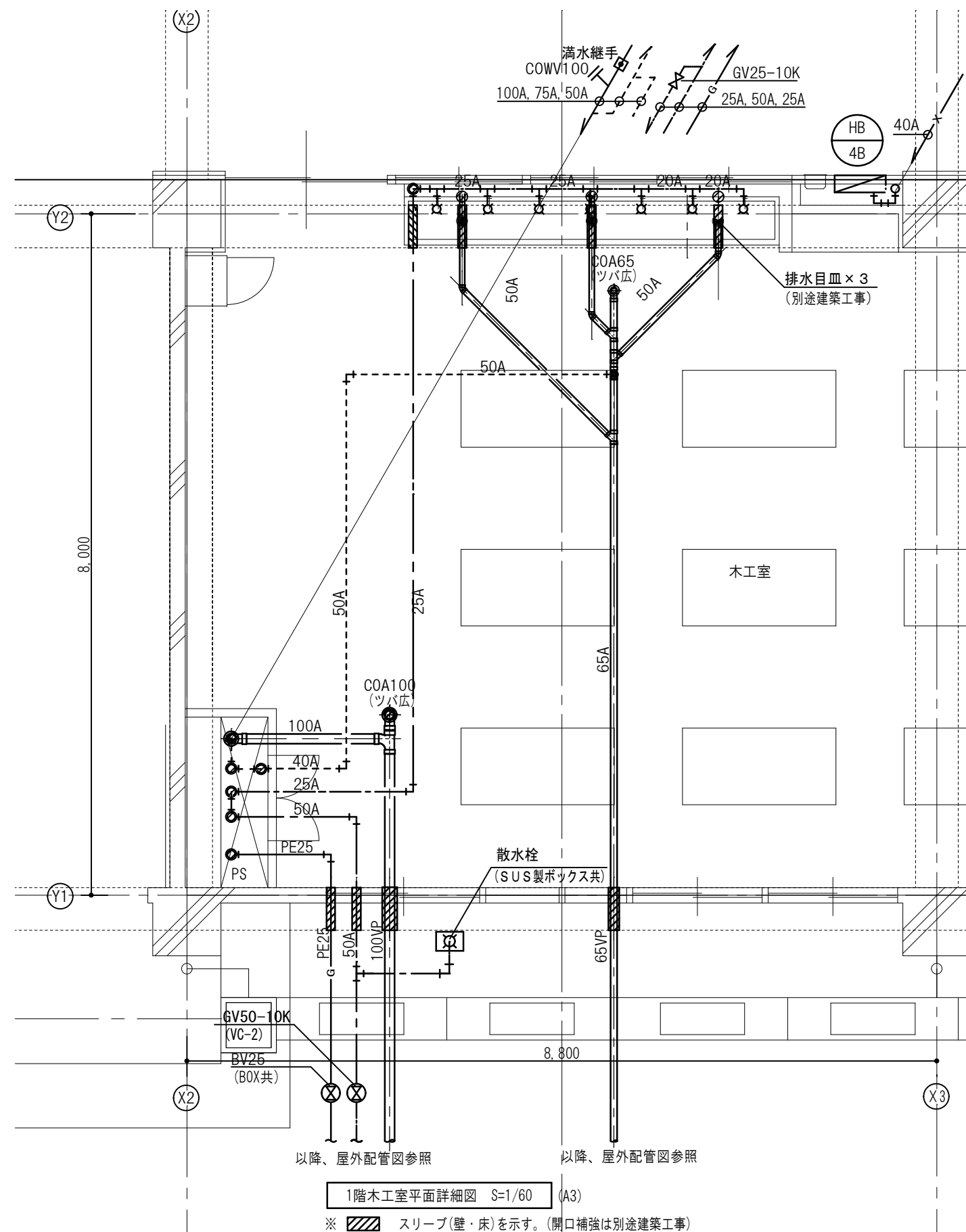
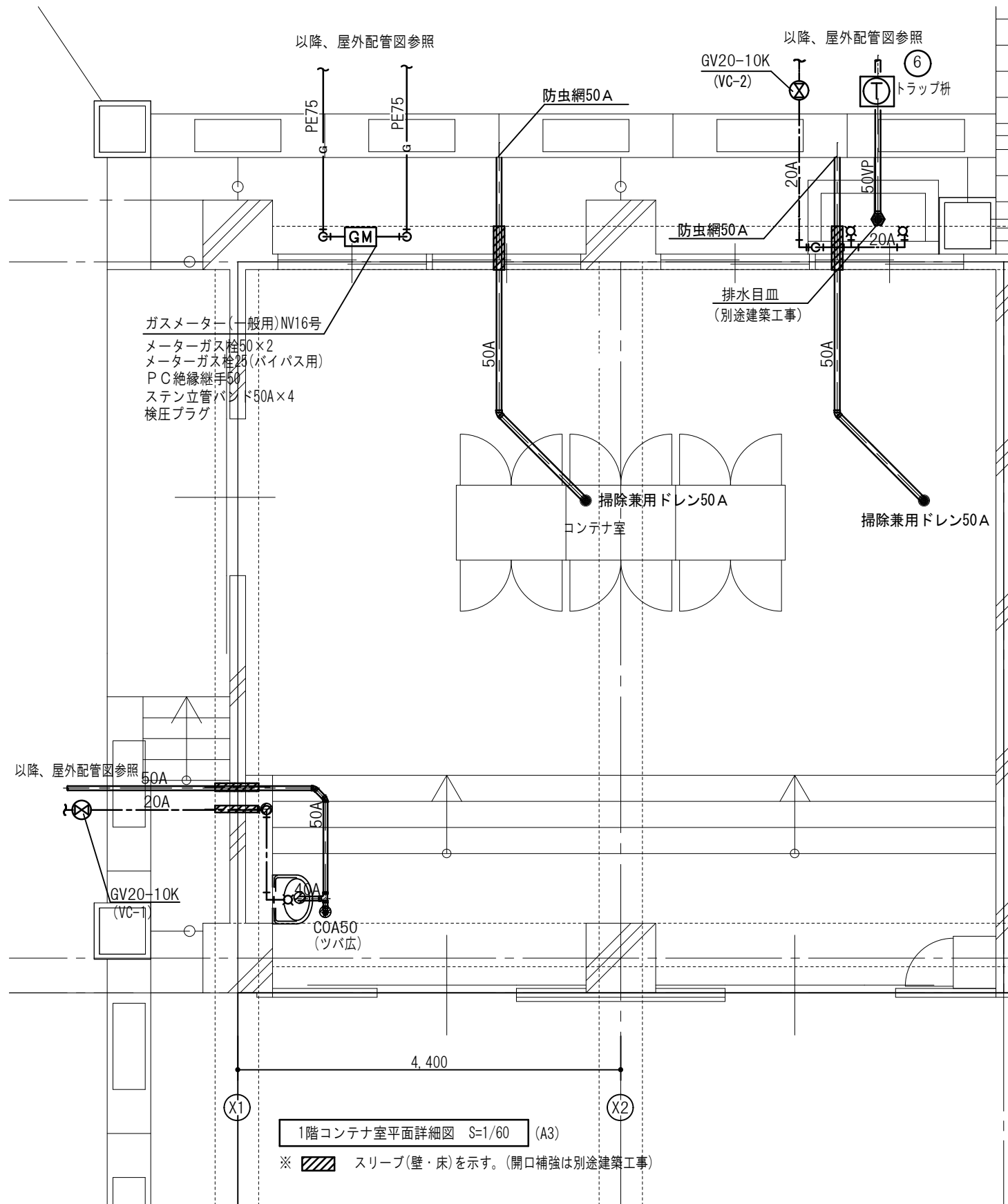
4階平面図 S=1/200 (A3)

※太線は新設設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。  
※○は防火区画貫通部処理（国土交通大臣認定工法）を示す。

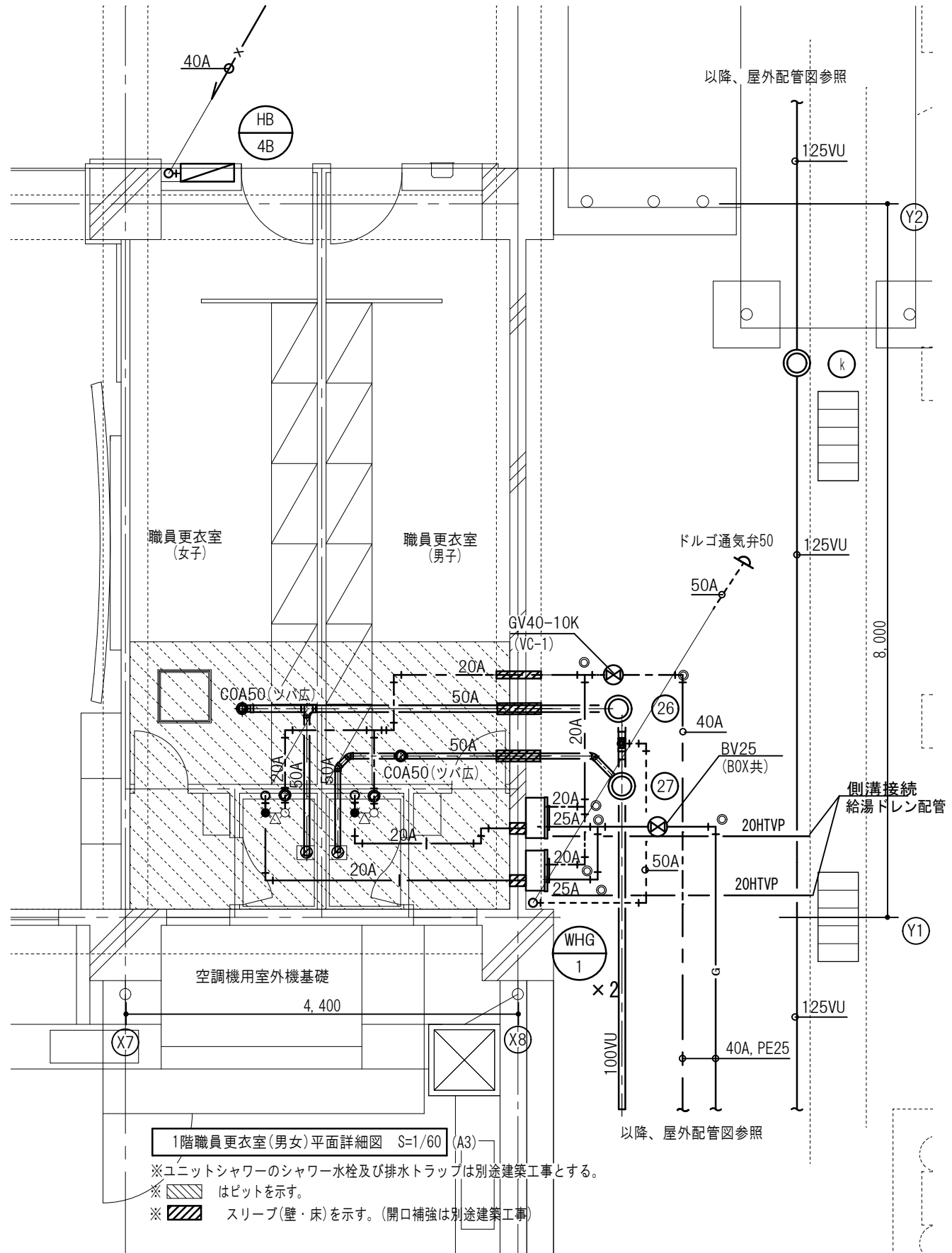
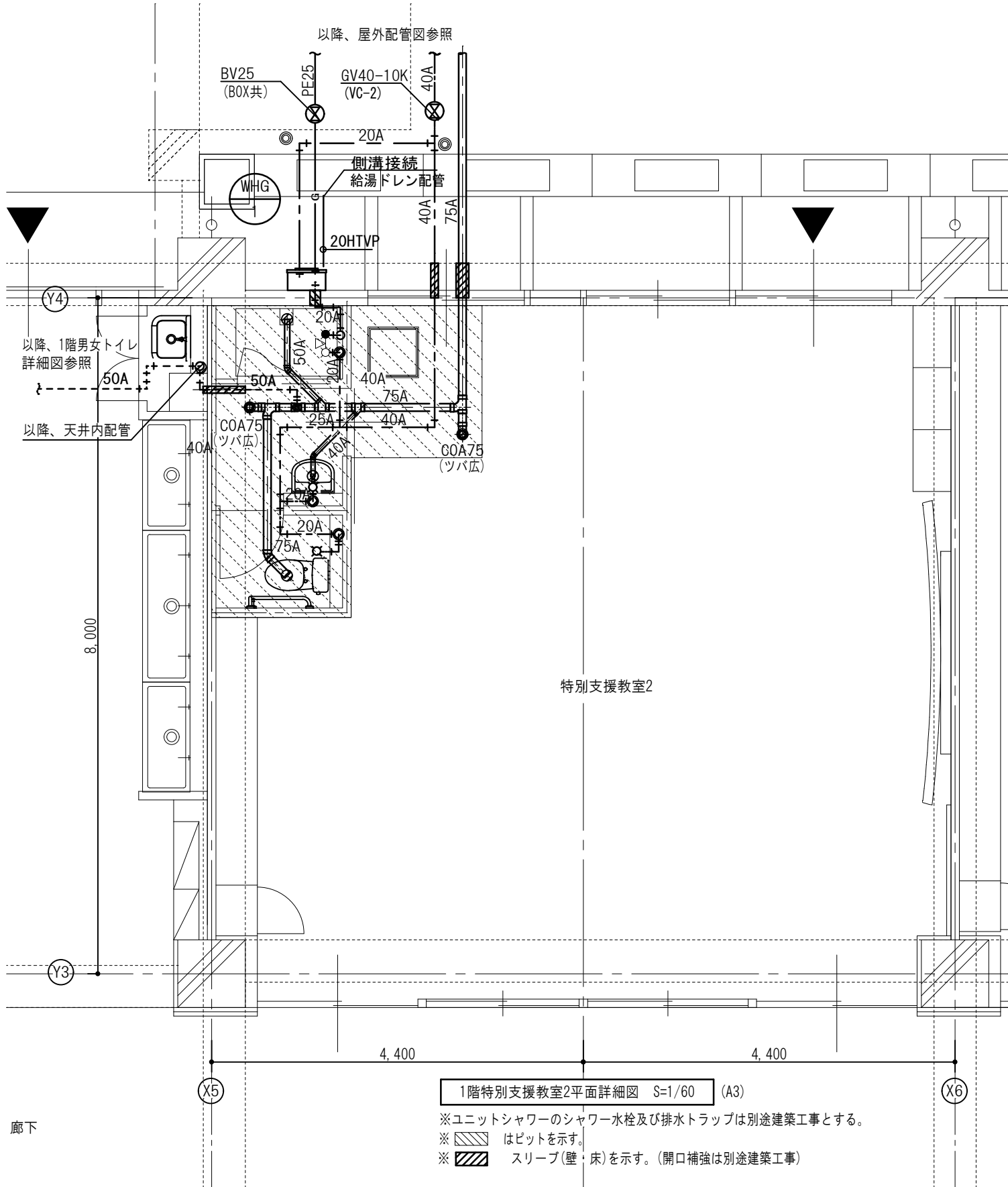
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社 一級建築士 第 376369 号  
榎木 信彦

紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事

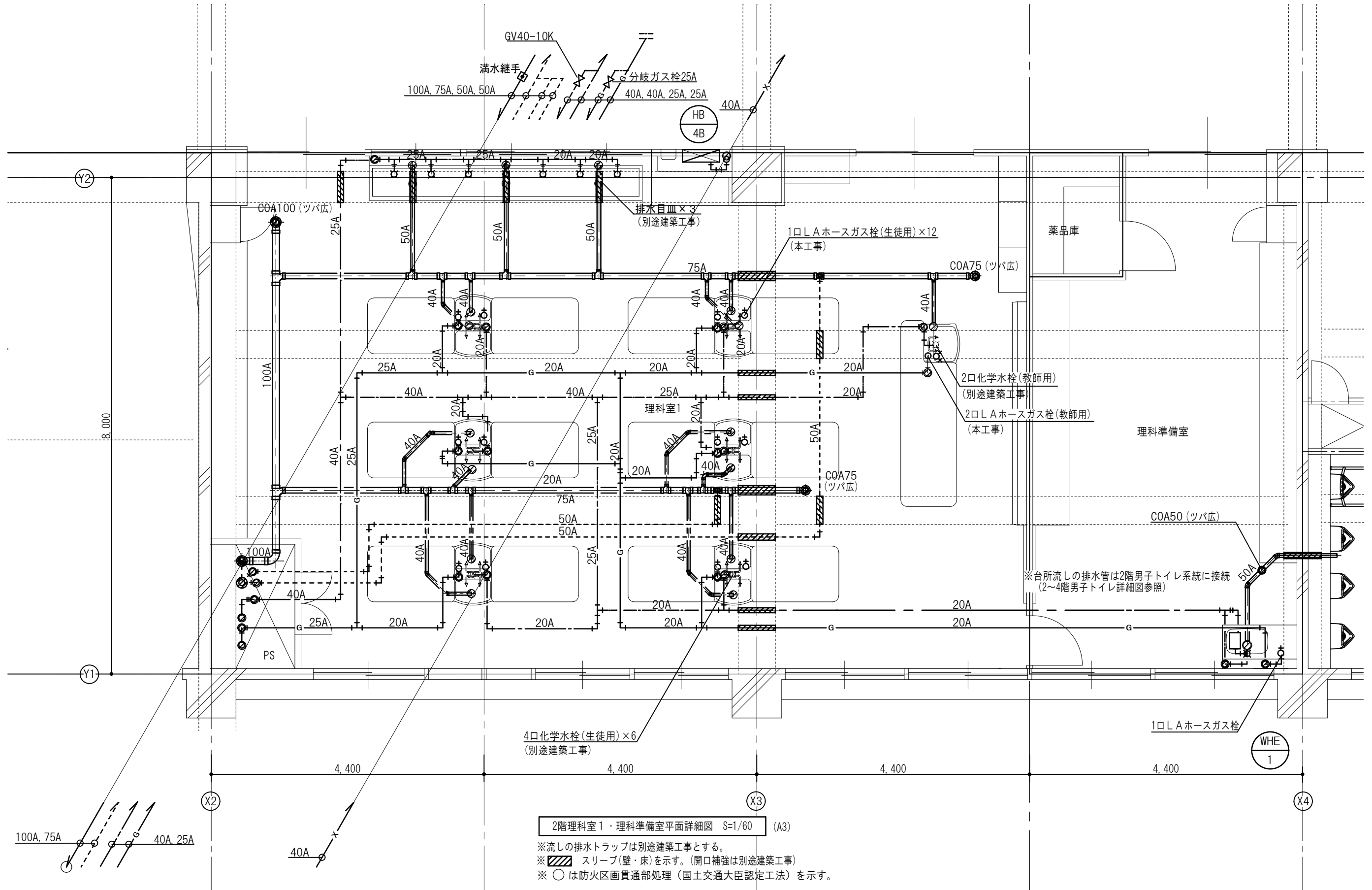
4階平面図（給排水衛生設備）	A3:S=1/200	17
鹿児島市建設局建築部設備課		全28



1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦		紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事	
1階コンテナ室・木工室平面詳細図 (給排水衛生設備)		A3:S=1/60	18
鹿児島市建設局建築部設備課			全28



1 級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第 376369号 樋木 信彦		紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事		
		1階特別支援教室2・職員更衣室 平面詳細図（給排水衛生設備）	A3:S=1/60	19
		鹿児島市建設局建築部設備課		全28

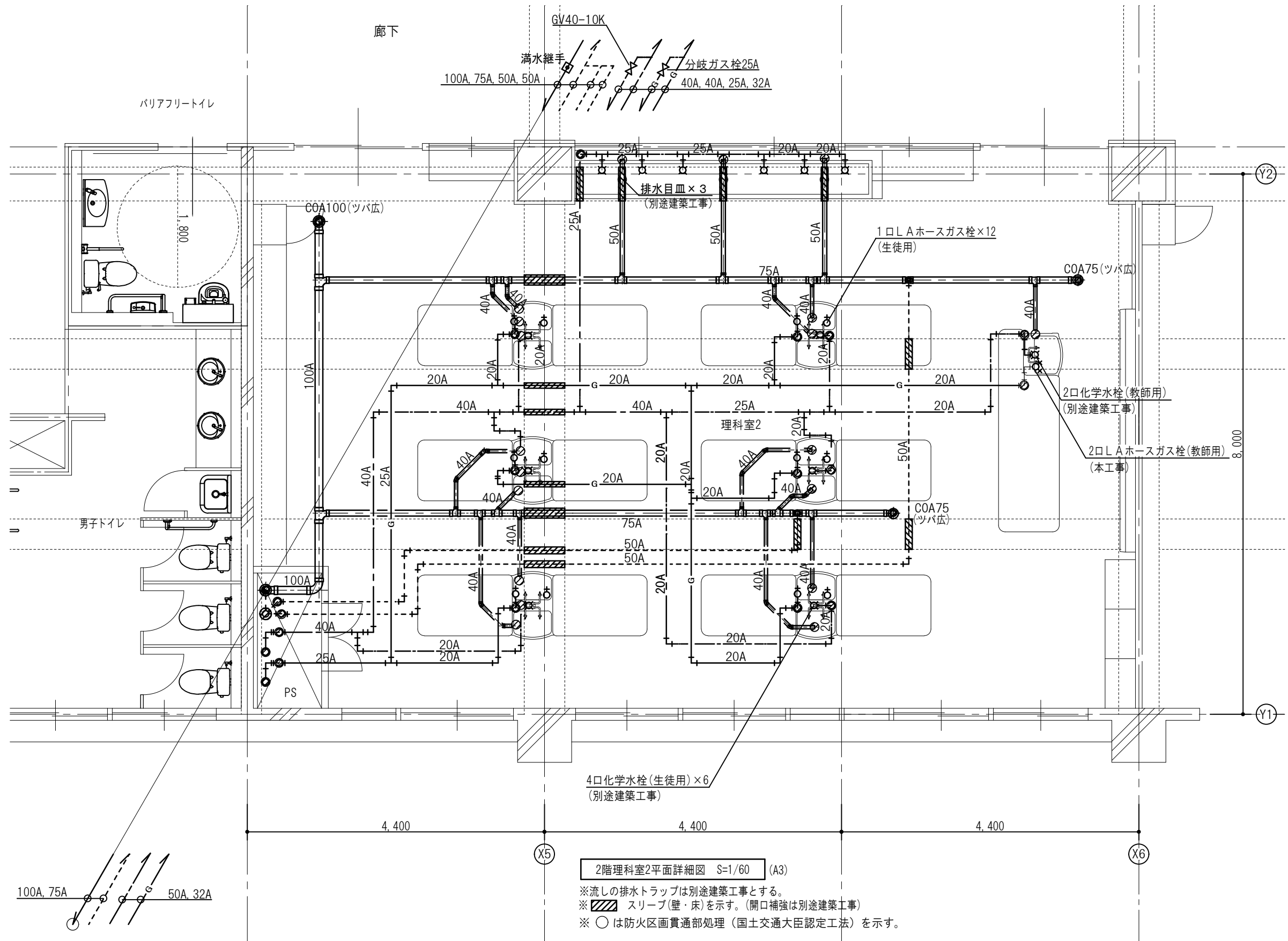


2階理科室1・理科準備室平面詳細図 S=1/60 (A3)

- ※流しの排水トラップは別途建築工事とする。
- ※ スリーブ(壁・床)を示す。(開口補強は別途建築工事)
- ※ は防火区画貫通部処理(国土交通大臣認定工法)を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 榎木 信彦		紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事	
2階理科室1・理科準備室平面詳細図 (給排水衛生設備)		A3:S=1/60	20
鹿児島市建設局建築部設備課			全28



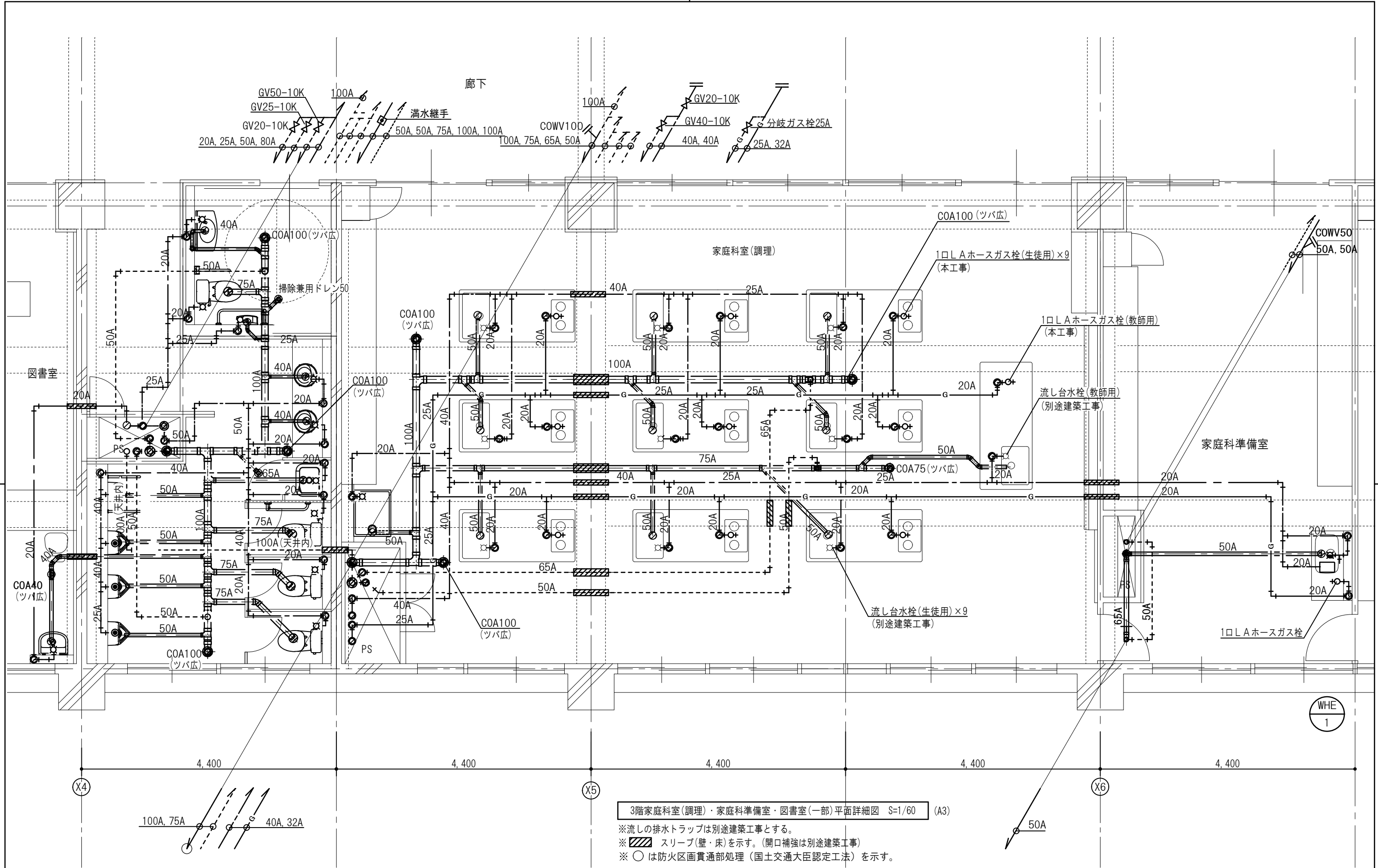


スリープ(壁・床)を示す。(開口補強は別途建築工事)  
○は防火区画貫通部処理(国土交通大臣認定工法)を示す。


1 級建築士事務所 鹿児島県知事登録第 1-3-188 号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社  
一級建築士 第 376369 号  
榎木 信彦

紫原中学校校舍新築給排水衛生設備工事

全 28



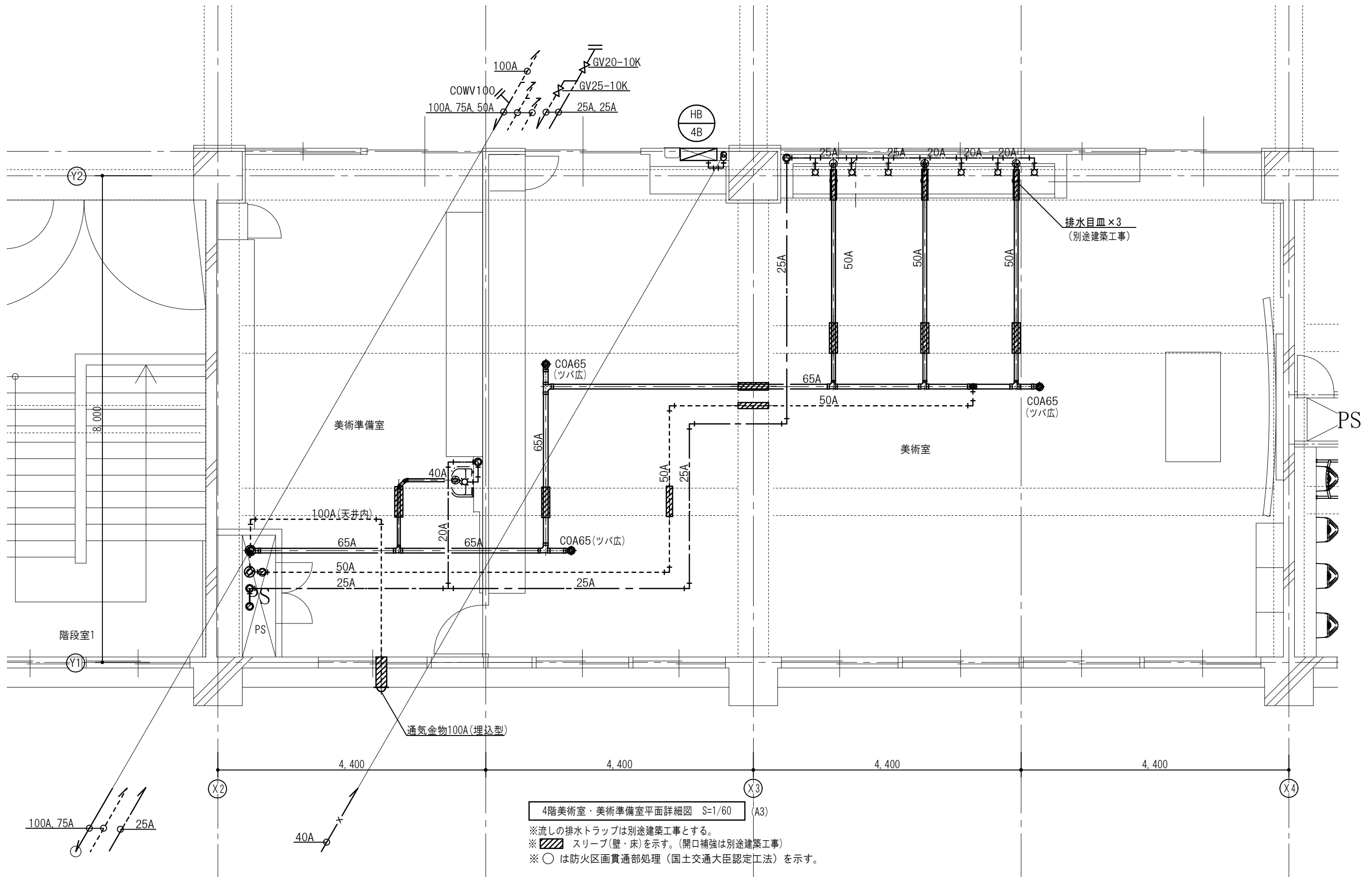
3階家庭科室(調理)・家庭科準備室・図書室(一部)平面詳細図 S=1/60 (A3)

- ※流しの排水トラップは別途建築工事とする。
- ※  スリーブ(壁・床)を示す。(開口補強は別途建築工事)
- ※ ○ は防火区画貫通部処理(国土交通大臣認定工法)を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社 一級建築士 第 376369号  
榎木 信彦

紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事

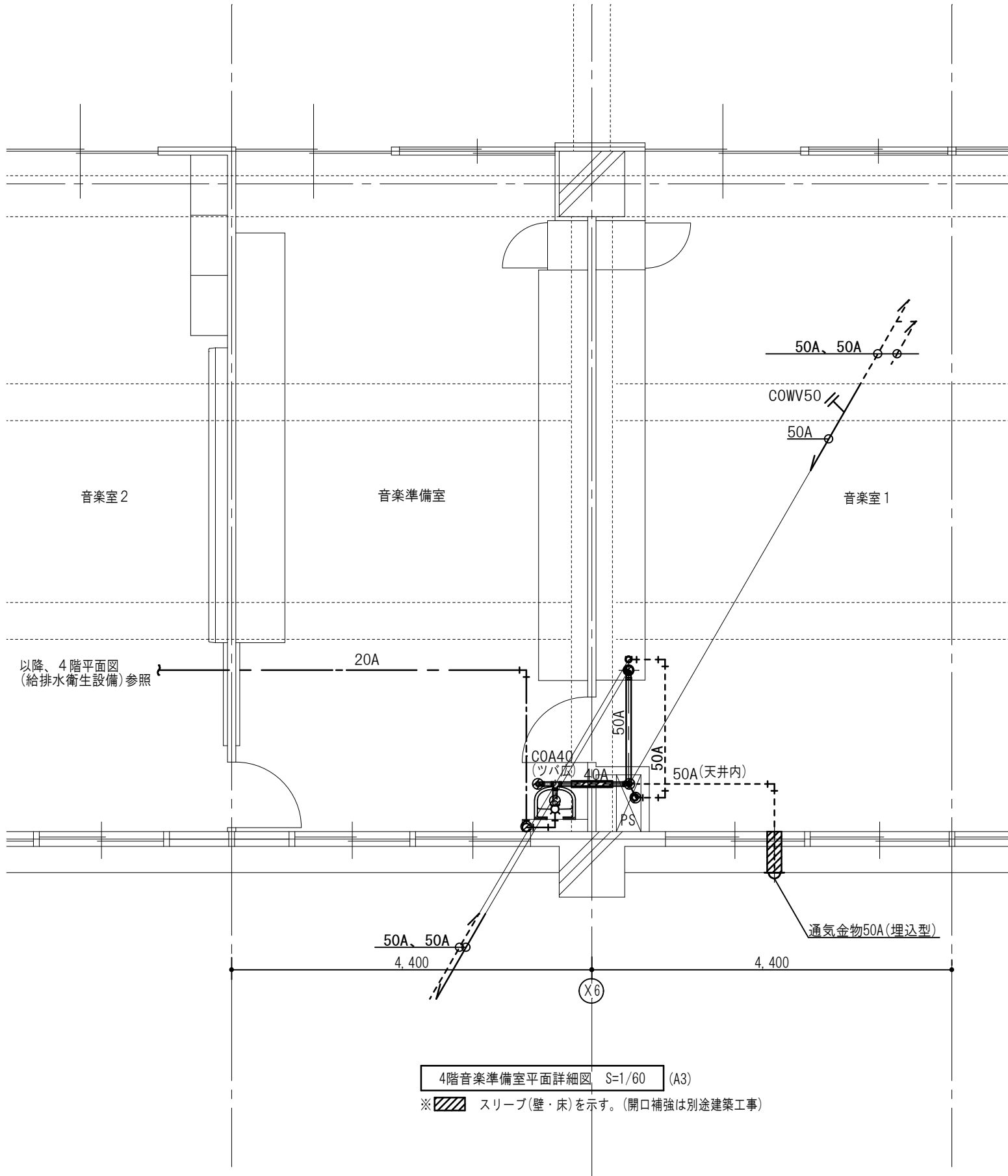
3階家庭科室(調理)・家庭科準備室・図書室(一部)平面詳細図(給排水衛生設備)	A3:S=1/60	22
鹿児島市建設局建築部設備課		全28




4階美術室・美術準備室平面詳細図 S=1/60

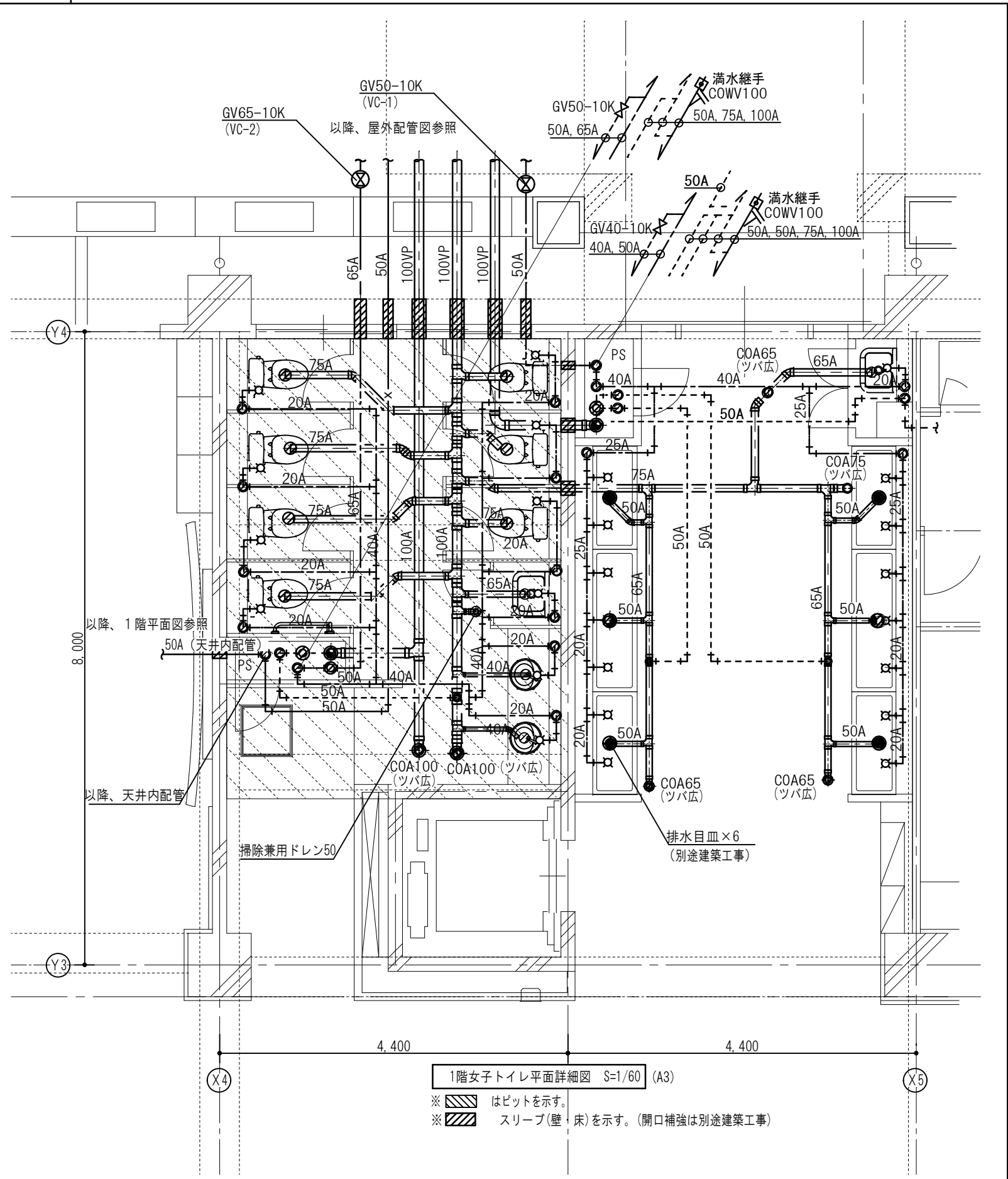
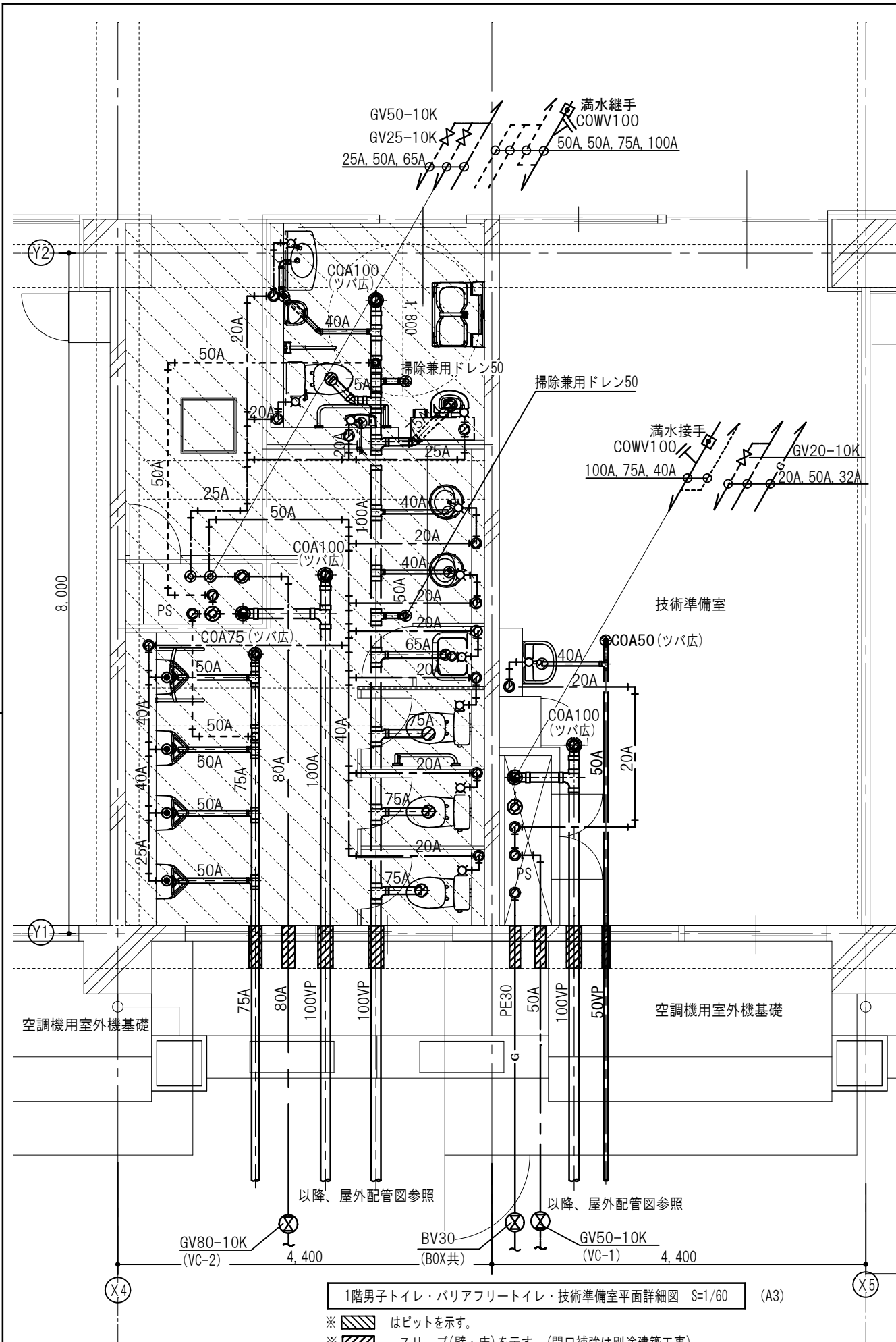
- ※流しの排水トラップは別途建築工事とする。
- ※ スリーブ(壁・床)を示す。(開口補強は別途建築工事)
- ※ は防火区画貫通部処理(国土交通大臣認定工法)を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第 376369 号 榎木 信彦		紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事		
4階美術室・美術準備室平面詳細図 (給排水衛生設備)		A3:S=1/60	23	
鹿児島市建設局建築部設備課		全28		

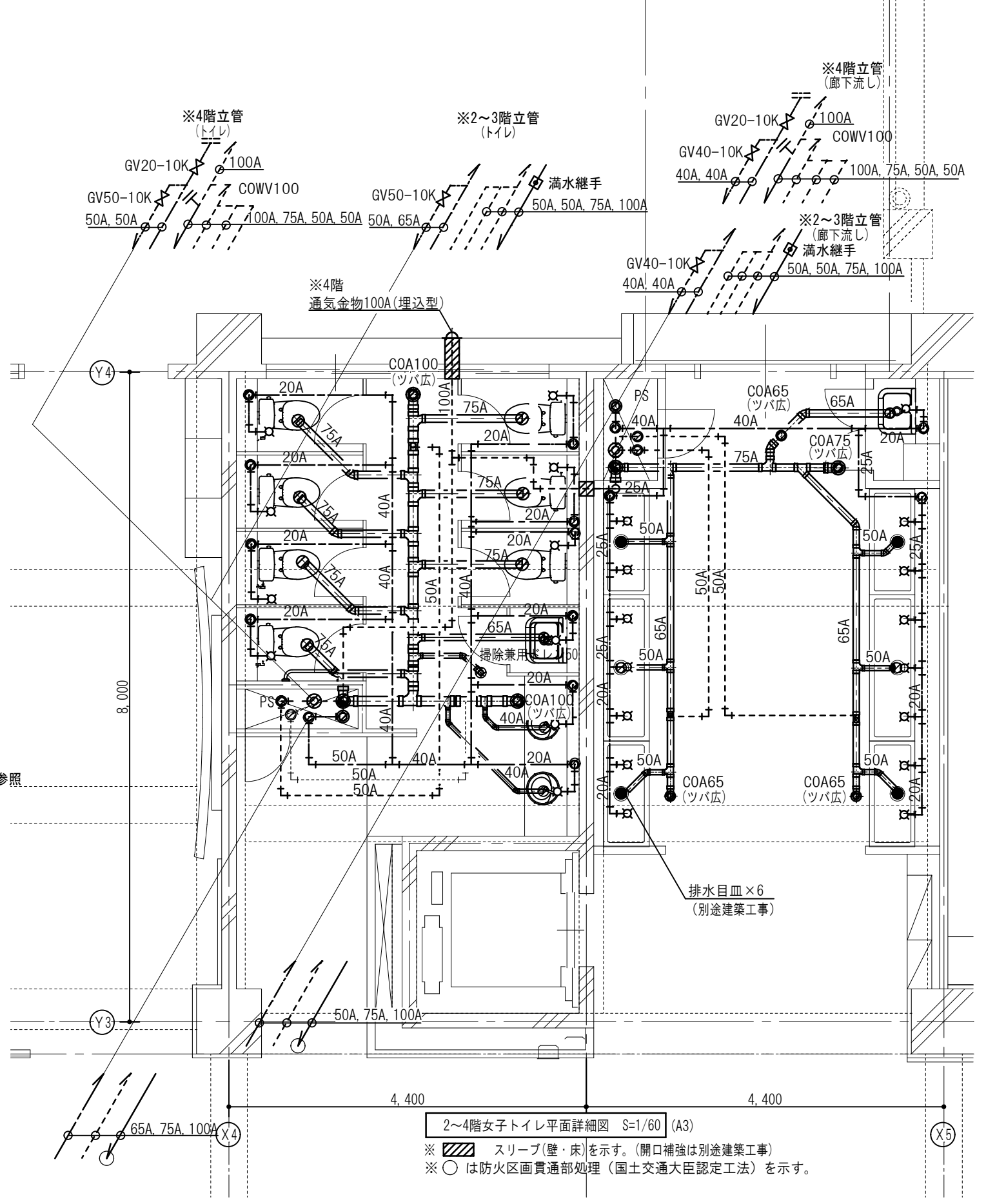
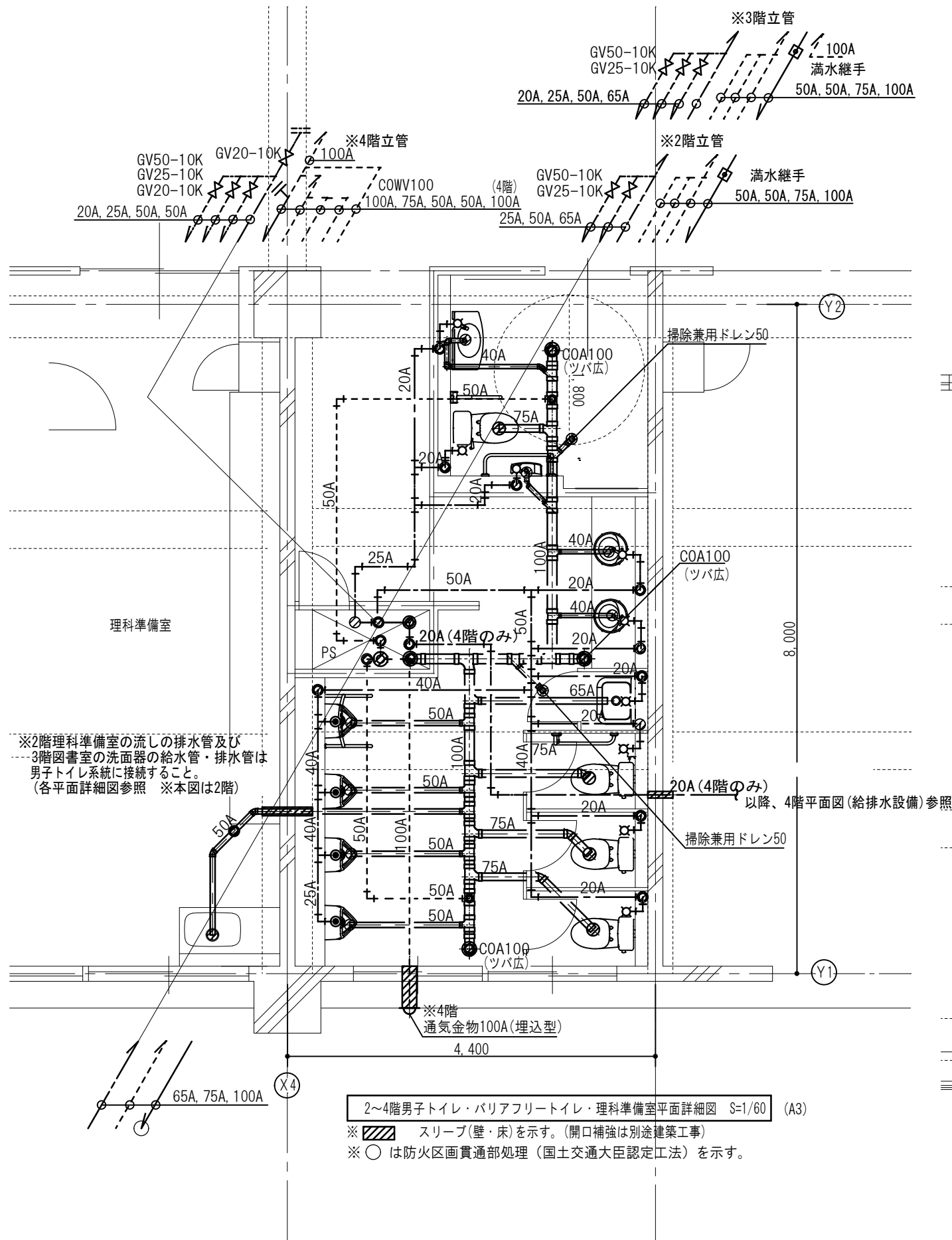


4階音楽準備室平面詳細図 S=1/60 (A3)  
※  スリーブ (壁・床) を示す。(開口補強は別途建築工事)

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 SEI EI SETSU BI 株式 西栄設備事務所 会社 一級建築士 第 376369号 榎木 信彦	紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事		
4階音楽準備室平面詳細図 (給排水衛生設備)		A3:S=1/60	24
鹿児島市建設局建築部設備課		全28	



1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦		紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事	
1階男女トイレ周り平面詳細図 (給排水衛生設備)		A3:S=1/60	25
鹿児島市建設局建築部設備課		全28	



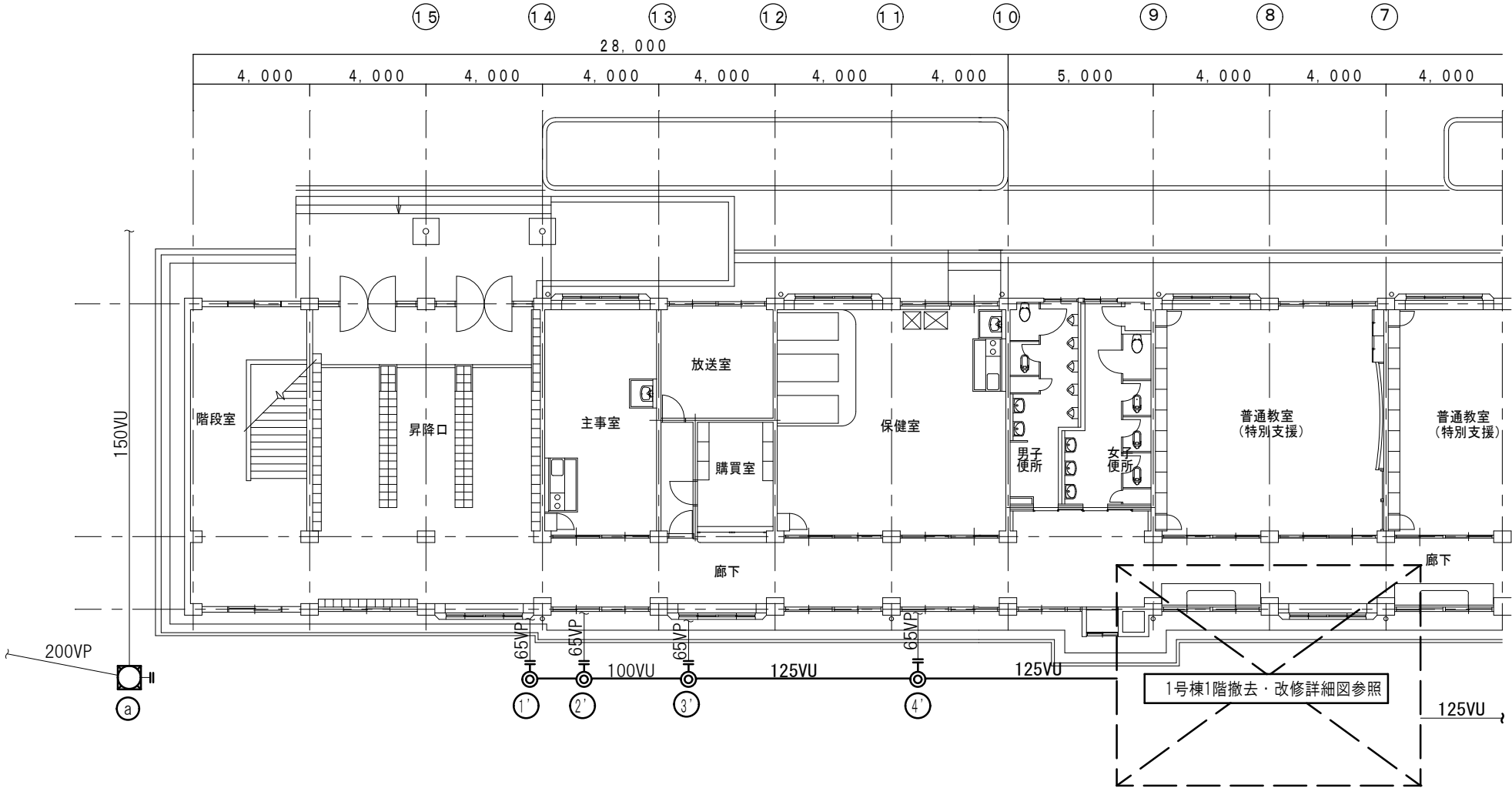
1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 樋木 信彦		紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事		
2~4階男女トイレ周り平面詳細図 (給排水衛生設備)		A3:S=1/60	26	
		鹿児島市建設局建築部設備課		全28



樹 リ ス ト

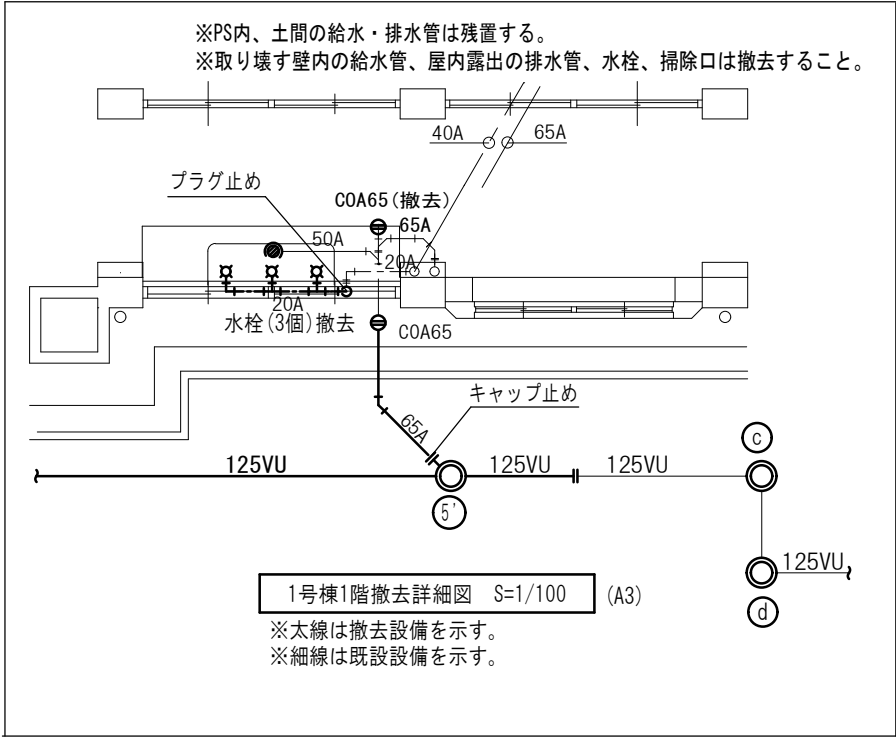
記 号	名 称	サ イ ズ	樹 深 さ (管 底)	蓋 種 別	区 分		
					新設	既設	撤去
①'	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (90L)	1,000	塩ビ蓋			○
②'	プラスチック樹 (排水樹)	100×150 (45Y)	1,030	塩ビ蓋			○
③'	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,080	塩ビ蓋			○
④'	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,100	塩ビ蓋			○
⑤'	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (45Y)	1,280	塩ビ蓋			○
①a	インバート樹 (排水樹)	900×900	1,700	MHD600		※	
①b	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (90L)	1,280	防護蓋 (内蓋共)	○		
①c	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (90L)	1,310	防護蓋 (内蓋共)		※	
①d	プラスチック樹 (排水樹)	125×200 (90L)	1,320	防護蓋 (内蓋共)		※	

※既設排水樹については、別途建築工事の舗装高さに合わせ蓋の高さを調整すること。



1号棟撤去平面図 S=1/200 (A3)

※太線は撤去設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。



1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号  
SEI EI SETSU BI  
株式 西栄設備事務所  
会社 一級建築士 第 376369 号  
榎木 信彦

紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事

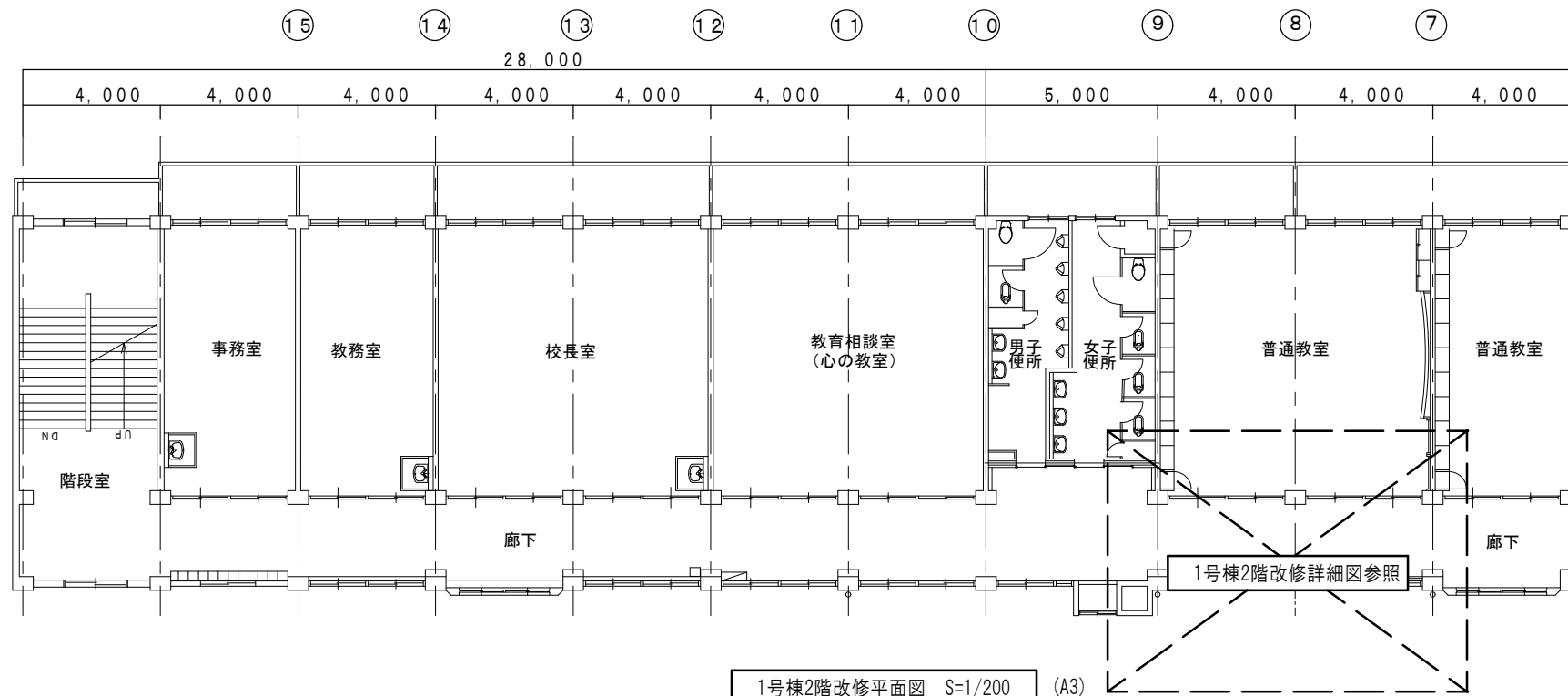
1号棟1階撤去平面図  
(給排水衛生設備)

A3:S=1/100  
A3:S=1/200

27

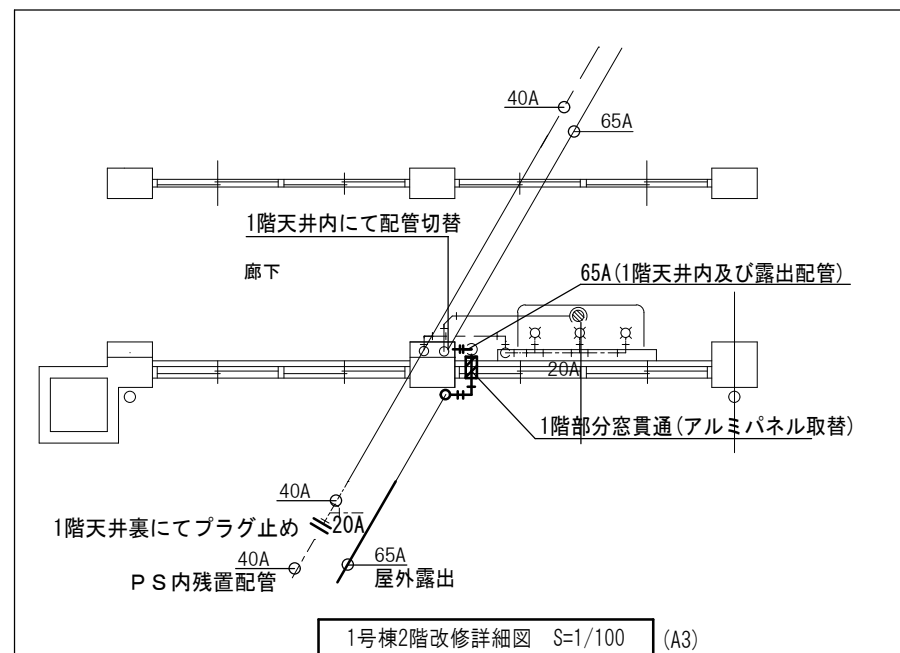
鹿児島市建設局建築部設備課

全28



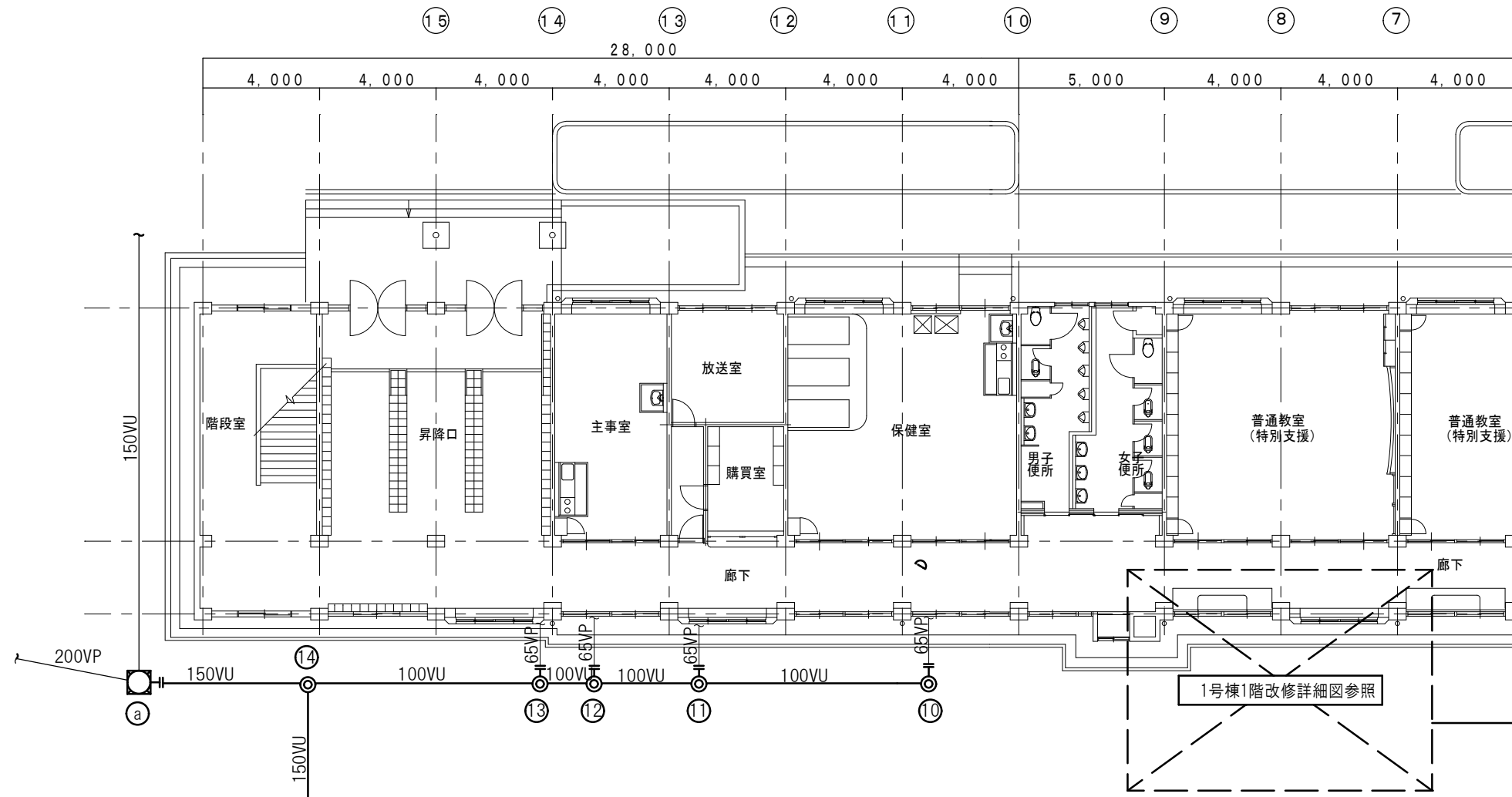
1号棟2階改修平面図 S=1/200 (A3)

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。



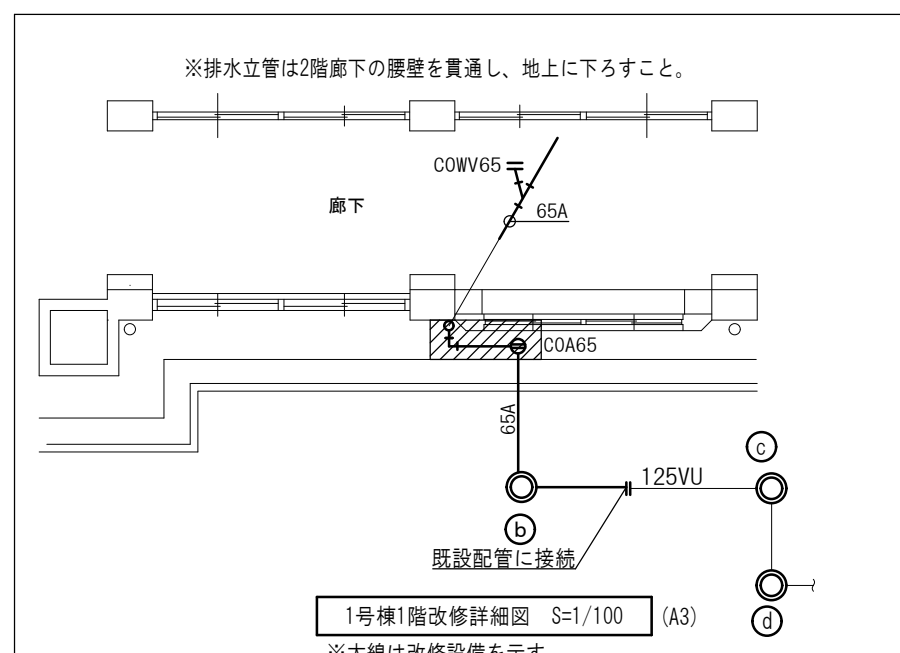
1号棟2階改修詳細図 S=1/100 (A3)

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。



1号棟1階改修平面図 S=1/200 (A3)

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。



1号棟1階改修詳細図 S=1/100 (A3)

※太線は改修設備を示す。  
※細線は既設設備を示す。  
※は犬走はつり復旧箇所を示す。

1級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1-3-188号 株式会社 西栄設備事務所 一級建築士 第376369号 榎木 信彦	紫原中学校校舎新築給排水衛生設備工事		
1号棟1階・2階改修平面図 (給排水衛生設備)	A3:S=1/100 A3:S=1/200	28	
鹿児島市建設局建築部設備課			全28